

第3次 登別市文化振興基本計画

令和7年3月
登別市教育委員会

は じ め に

平成27年に、「第2次登別市文化振興基本計画」が策定されてから、10年が経過しました。この間、さらに人口減少や少子化の進行が加速したほか、住民のライフスタイルの変容や国の施策の変化等によって、本市における文化芸術を取り巻く環境は大きく変化しました。

特に、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちの生活に大きな影響を与えました。施設の利用、声を出すこと、人との接触、不要不急の外出などが制限され、市民の文化活動にも大きな打撃を与え、文化活動の意義を改めて問い直す機会となった一方で、オンラインを活用した個人での活動の幅が広がりもしました。

また、アイヌ施策推進法の施行や、民族共生象徴空間のオープンなどに伴い、本市においてもアイヌ文化関係団体と連携し、様々な施策に取り組むなど、アイヌ文化の振興が促進されました。

このような成果と文化を取り巻く状況の変化を踏まえた上で、次の10年に向けた方針を定めるため、公募や文化団体の推薦による市民11名の委員からなる「登別市文化振興基本計画検討会議」にて議論を重ね、このたび「第3次登別市文化振興基本計画」を策定いたしました。

本計画では、持続可能性やウェルビーイングといった新たな価値観を盛り込み、市民、文化団体、行政などの役割を明示し、それぞれが自主的、主体的に本市の文化振興に取り組んでいくことは、市民憲章でもうたう「文化のかおり高いまち」づくりの大きな力になるものと確信しております。

終わりに、本計画の策定に当たり、ご尽力いただきました委員の皆さまをはじめ、アンケートにご協力いただきました市民の皆さま、関係の方々に厚くお礼を申し上げます。

令和7年3月

登別市教育委員会
教育長 安宅 錦也

目 次

第1章 総論	… 1
第1節 策定の趣旨	
第2節 文化振興の意義	
文化の多様性／新型コロナウイルス感染症と文化活動	
文化を取り巻く社会状況と文化活動／新たな価値観と文化振興の意義	
第3節 計画推進のための役割分担	
第4節 計画の構成	
第5節 計画の位置づけと期間	
第6節 SDGsの理念との整合	
第2章 文化活動の充実	… 7
第1節 現状と課題	
多様な文化活動／文化芸術に親しむ機会	
文化活動に供する施設の整備	
第2節 目標	
第3節 施策の方向	
第3章 文化を担う人づくり	… 10
第1節 現状と課題	
団体活動を通じた文化の担い手づくり／文化芸術活動を通じた文化の担い手づくり／子どもたちが文化芸術活動に親しむ場づくり	
第2節 目標	
第3節 施策の方向	
第4章 歴史の保存と活用	… 13
第1節 現状と課題	
歴史を語る文化財／歴史・文化を学ぶ場／文化財の保存と施設の周知	
歴史・文化の継承／歴史・文化の調査研究と活用	
第2節 目標	
第3節 施策の方向	

第5章 アイヌ文化の振興 ……17

第1節 現状と課題

アイヌの人たちの歴史／登別市にゆかりのある人々

アイヌ文化の復興と継承／私たちの住む土地が育んできた大切な文化

第2節 目標

第3節 施策の方向

語句説明一覧 ……21

登別市指定文化財一覧 ……22

登別市における将来推計人口 ……23

「第3次登別市文化振興基本計画検討会議」委員一覧／検討会議開催日 ……24

【資料】

アンケート結果

・結果・分析 ……25

・数値一覧 ……41

・アンケート ……50

第1章 総論

第1節 策定の趣旨

文化芸術全般にわたる基本的な法律として「文化芸術振興基本法（平成13年法律第148号）」が施行されてから、国では4次にわたって策定した方針のもと、文化芸術立国の実現に向けた取組を進めてきました。

この間、少子高齢化・グローバル化の進展など社会の状況が著しく変化する中で、観光やまちづくり、国際交流など幅広い関連分野の連携を視野に入れた総合的な文化芸術政策の展開がより一層求められるようになりました。このことから、文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、文化芸術そのものの振興にとどまらず、関連分野の施策を取り込むとともに、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用するため、平成29（2017）年に法律の改正が行われました。

法律の名称は「文化芸術基本法」と改められ、文化芸術に関する活動を行う人々の自主的な活動を促進することを基本としながら、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としています。

一方、登別市では、文化振興の方向性を具体化するため、平成17（2005）年3月に登別市文化振興基本計画を策定し、その後の本市における文化を取り巻く状況の変化を踏まえ、平成27（2015）年に第2次登別市文化振興基本計画（以下「第2次基本計画」という。）を策定しました。

この度、第2次基本計画の策定後10年が経過するにあたり、本市の人口減少の加速や経済状況の変容、国の施策の変化等を踏まえ、第3次登別市文化振興基本計画を策定するものです。

第2節 文化振興の意義

文化の多様性

文化は、最も広くとらえると、人間が自然とのかかわりや風土の中で生まれ、育ち、身に付けていく所作や衣食住をはじめとする暮らし、生活様式、価値観など、およそ人間と人間の生活にかかわるすべてのこと

を意味するとされます。

この計画でいう文化は、人々の創造性を育み、豊かな人間性を養い育てるとともに、人と人との心のつながりを強め、心豊かで多様性と活力のある社会を形成する源泉となる「文化芸術」、歴史の中で生まれ育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重なまちの財産である「文化財」、日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族であるアイヌの人たちの文化である「アイヌ文化」等、多様な文化を含んでいます。

現代的な、美術・音楽・演劇・舞踊等の芸術、映画・漫画・アニメーション・ゲームといったメディア芸術等、その表現の幅はますます広がっています。その活動への向き合い方も、鑑賞を主とする人から実際に取り組む人まで、個人活動から団体活動まで、世代も幼児から高齢者までと幅広く、登別市においても多様な活動が展開されてきました。

新型コロナウイルス感染症と文化活動

平成27（2015）年の第2次基本計画の策定から10年を経過する間で、文化を取り巻く環境は大きく変わりました。

その最大の要因は、令和2（2020）年にはじまった新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の世界的な感染拡大です。国内でも緊急事態宣言が発出されるなど、人々の日常生活は一変しました。本市においても、人と人との身体的な接触を回避するため、マスクの着用、外出の制限や施設の閉鎖、施設内での発声や飲食の禁止、大勢が集まる文化イベントの中止や規模縮小等の利用制限がなされ、多くの人が行動の変容を迫られました。

令和5年3月に閣議決定された「文化芸術推進基本計画（第2期）」においても、このような環境下において、文化芸術に関する活動はあたかも不要不急のものであるかのごとく扱われたと指摘されています。

この行動変容により、個人や文化団体、学校や地域における子どもの文化芸術活動の減少など、甚大な影響を受けました。

一方、劇場・音楽堂等における公演や、博物館・美術館における展示の開催が外出制限により困難となったことを受け、デジタル活用が進みオンラインで文化芸術を表現・鑑賞することなどが活発になりました。

文化を取り巻く社会状況と文化活動

新型コロナの影響とともに、国内の社会状況に目を転じると、深刻な人口急減などで、特に地方部での文化芸術の担い手の著しい減少、将来

を担う子どもたちの減少により地域文化の衰退につながりかねない状況が指摘されています。

また、定年延長やICT※¹の進展など、住民のライフスタイルの変化等により、地域社会におけるつながりの希薄化も指摘されているところであり、本市においても、これまで文化活動を支えてきた団体活動の継続が危ぶまれています。

人口の急減は、経済規模の縮小をもたらし、文化活動や文化施設等の運営に影響を与えることから、地域の現状と課題を認識した上で、多様な主体が相互に連携して本市における文化振興の施策を進める必要があります。

新たな価値観と文化振興の意義

近年、持続可能性やウェルビーイング※²といった価値観が注目される中で、人々に安らぎと勇気、明日への希望を与えるという、文化芸術のもつ本質的価値等の重要性が再認識されています。

すべての市民が文化に親しみ、情操を豊かにして人間性を高めるため、文化芸術に接する機会を充実させ、市民一人ひとりが文化創造の担い手であることを啓発することは、文化あふれるゆとりと生きがいのある魅力的なまちづくりを進めて行くうえで欠かせないものです。

また、私たちの住む登別市に先人がのこした文化財や、現在まで続くアイヌ文化などの伝統文化は、このまちの生活や歴史を理解するだけでなく、土地と人の結びつきを強くし、豊かな人間性や文化の多様性を育んでいくうえで欠くことのできない、私たちのまちの礎となる貴重な共有財産であるからこそ積極的な保護と活用、またその基礎となる調査研究を図っていくことが必要です。

これらのことから、市民一人ひとりが自主的、主体的に文化の創造に関わるとともに、文化財の保護継承と活用に努め、子どもたちが夢と希望を持って世界に羽ばたき、文化の多様性を認識し、私たちが住むこのまちへの誇りと生きがいを感じることができるよう、個性ある文化活動と文化を育む環境づくりを進めるためにも、積極的に文化の振興を図っていく必要があります。

第3節 計画推進のための役割分担

- (1) 市民一人ひとりが地域において文化活動する際の基本的な指針として、自主的、積極的な参加を求めるものです。
- (2) 計画の実施にあたっては、市民・文化団体・学校・企業・行政などが相互に連携を図りながら推進するものです。

主 体	役 割
市民等 市民、文化団体、 学校、企業等	●自らが文化活動の担い手であることを自覚し、個性と創造性を生かし、文化の振興に努めます。 ●文化活動に積極的に参加し、心豊かに生活します。 ●文化・文化財に関心を持ち、地域文化の振興に努めます。 ●文化・文化財を大切に保存（保護）し、後世に継承します。
登別市文化協会	●文化団体と連携を深め、地域に根ざした文化の育成と振興を図ります。 ●加盟する文化団体の活動を支援して、多様な文化を後世へつないでいきます。 ●文化活動をとおした地域間の交流を図ります。
一般財団法人 登別市文化・スポーツ 振興財団	●芸術性の高い舞台公演など市民の文化芸術鑑賞の機会や様々な文化講座を実施します。 ●子どもたちの感性を育む鑑賞事業を実施するとともに、各種大会に参加する子どもたちを支援します。 ●文化芸術に関する地域クラブを運営します。
行政機関 登別市 登別市教育委員会	●広く市民が文化芸術に参加し、鑑賞し、創造することのできる機会の充実に努めます。 ●市民等の文化活動についての相談にのり、活動を支援します。 ●安全・安心に多様な文化芸術活動が行われるよう環境の整備に努めます。 ●文化・文化財の普及啓発に努めます。

第4節 計画の構成

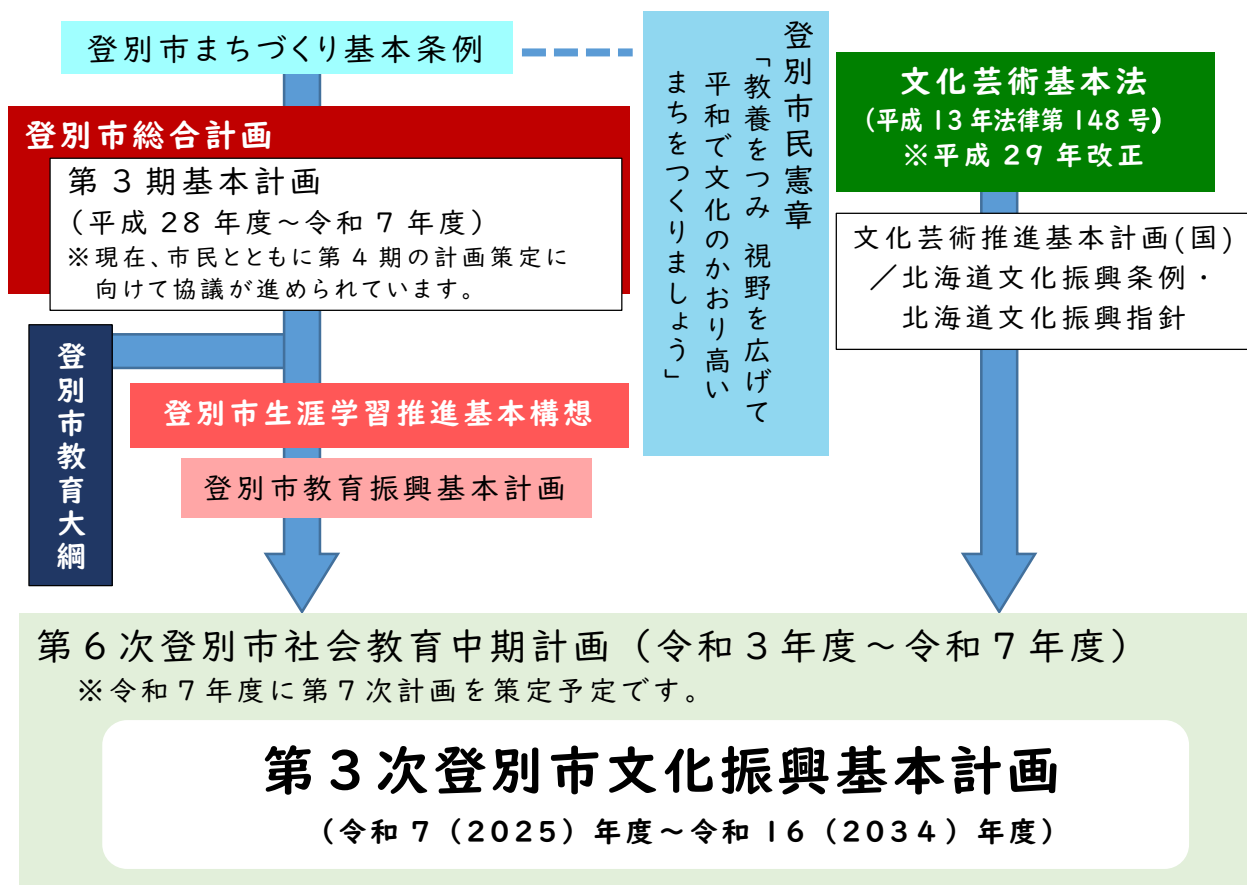
本計画は、第2章以降「文化活動の充実」「文化を担う人づくり」「歴史の保存と活用」「アイヌ文化の振興」の4章を設け、全5章で構成しています。各章は、今回の策定にあたり実施した市民アンケートの結果と検討会議での意見を基にした「現状と課題」、本市が目指す「目標」、目標を達成するために必要となる「施策の方向」で構成しています。

第5節 計画の位置づけと期間

登別市の文化施策は、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる社会教育の分野で進められています。

登別市文化振興基本計画は、登別市総合計画及び登別市教育大綱の理念に基づき、登別市生涯学習推進基本構想で目指す生涯学習社会の構築に向け策定された、登別市社会教育中期計画における文化振興に関する施策の方向性をさらに具体化するための計画として位置づけています。

第3次となる本計画は、令和7(2025)年度を初年度とし、おおむね10か年を目途に、必要に応じて見直します。



第6節 SDGsの理念との整合

SDGsは、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。

持続可能な世界を実現するため17の目標と169のターゲットが設定されており、地球上の「誰一人取り残さない」という理念のもと、令和12(2030)年までに達成することを目標としています。

本計画では、17のゴール(目標)のうち特に関連の深い目標4【質の高い教育をみんなに】の「全ての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」及び目標11【住み続けられるまちづくりを】の「包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」の達成に貢献しますが、持続可能な社会づくりを通して、SDGsの17全てのゴールを意識した施策を展開します。



*目標(ゴール)4 「質の高い教育をみんなに」

ターゲット 4.7

令和12(2030)年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

*目標(ゴール)11 「住み続けられるまちづくりを」

ターゲット 11.4

世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。

第2章 文化活動の充実

第1節 現状と課題

多様な文化活動

登別市における文化活動は、長く、昭和40(1965)年に発足した登別市文化協会(以下「文化協会」という。)とその加盟団体によって支えられてきたと言えます。

各加盟団体による活発な活動、市民文化祭や文化講演会の開催、文芸誌『文芸のぼりべつ』の発行、姉妹都市との文化交流など、多様な活動を通して登別市の文化活動を牽引してきました。

市民活動センター「のぼりん」(以下「のぼりん」という。)が主催する「文化講座」には平成22(2010)年から参画しており、市民の文化活動への参加の契機となっているほか、近年では、日本工学院北海道専門学校に通う学生への日本文化に関する講座の実施など、活動も多岐にわたっています。

平成8(1996)年には、市民参画の文化・スポーツの環境づくりを目的に登別市文化・スポーツ振興財団(以下「財団」という。)が設立され、市民会館等の文化施設を拠点に様々な文化芸術鑑賞事業の開催、各種文化教室を開催してきました。

文化活動の活性化を促す一助となる活動の成果を発表する場や交流の場(市民文化祭や文化講演会など)は、文化協会と財団が共催で担い、より幅広く展開してきました。

一方、文化活動をしていない市民については、本計画の策定に向けて実施したアンケートによれば、仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がないことを理由にあげる人が多い傾向にあり、情報の入手ができないことや一緒に活動する仲間がいないことをあげる市民もいます。

これらの人を文化活動につなげるとともに、誰もが文化活動に参加できるような機会の充実、参加しやすい環境の創出が重要です。

文化芸術に親しむ機会

登別市は、室蘭市、苫小牧市といった中規模都市に近接し、札幌市へも鉄道で約1時間半程度の距離に位置しているなど、他都市で開催される文化・芸術の鑑賞機会を比較的容易に得やすい環境にあります。

そのため、映画上映や大規模なコンサートなど、関心のある鑑賞事業を求めて、多くの市民が近隣の室蘭市や伊達市、さらには苫小牧市や札幌市まで足を運び鑑賞しています。

市内で開催される鑑賞事業は、財団、西いぶり定住自立圏の3市3町の教育委員会で組織される実行委員会、市民を中心とした団体、民間事業者などによって担われ、多様な文化に触れる機会が提供されてきました。

大規模な芸術鑑賞事業だけでなく、文化活動の成果を発表する場が市内複数の箇所で開催され、広く市民にも公開される市民文化祭などの催しも、身近な鑑賞の機会と言えます。

近年では、登別市内においても、公共空間にピアノを設置し、訪れた人が自由に演奏できる、いわゆる「ストリートピアノ（または街角ピアノ）」を設置する場所もあり、日常の中で文化に親しむことのできる環境が整備されています。

また、会場も、公共施設だけではなく、飲食店でのジャズライブの開催など、鑑賞のあり方も様々です。

第2次基本計画の期間中に、インターネットや SNS^{※3} の活用で、事業の広報手段は大幅に広がりましたが、依然として情報を受け取ることができていない、興味のある鑑賞事業がないと感じている市民がいるなど、情報の伝達手法の工夫と魅力的な事業の企画が求められています。

文化活動に供する施設の整備

令和2（2020）年度からの新型コロナの流行は、市民にも公共施設の利用制限等、様々な行動変容を迫りました。

一方で、人と直接触れあうことのない、オンラインによる情報発信が増加し、音楽演奏や美術館・博物館の鑑賞、講演会の受講など、その場に行くことなく気軽に享受できるようになりました。

本市においても、公共・民間問わず、インターネットに接続するための Wi-Fi 環境^{※4} を整備する施設が増えてきており、オンラインでの催し物の開催や視聴など、様々な場面で活用できるようになっています。

対面による鑑賞事業や日常の文化活動の場所となっている市民会館、鷺別コミュニティセンター、のぼりん等の公共施設は、長く文化活動や生涯学習活

動を支える施設として整備され、現在まで活用されています。

しかし、多くの施設が、建設から相当の年数が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、安全・安心に文化芸術を鑑賞し、文化活動ができるよう計画的な施設整備が必要となっています。

また、誰もが文化活動を楽しむことができるよう、今後も施設のバリアフリー化を進めていく必要があります。

第２節 目標

市民一人ひとりの豊かな個性と人間性を育み、感性や創造性をかん養し、心豊かな生活を送ることができるよう、誰もが文化に親しむことのできる環境の充実を図ります。

第３節 施策の方向

- (１) 市民の主体的な文化活動の成果を発表する機会の充実と、参加しやすい環境の整備に努めます。
- (２) 文化活動の機会の充実を促進するため、財団や文化協会などの文化団体を支援するとともに、これらの団体との連携・協働に努めます。
- (３) 文化活動や文化芸術鑑賞に関する情報を、様々な方法を活用して市民に提供します。
- (４) 多彩な文化芸術鑑賞に親しむことができる機会と内容の充実を図るとともに、市民等が実施する取組を支援します。
- (５) 安全・安心に、誰もが文化活動ができるよう、施設整備を図ります。

第3章 文化を担う人づくり

第1節 現状と課題

団体活動を通じた文化の担い手づくり

団体活動は、協調性を育み、他者との交流や同じ文化活動に親しむ者同士の切磋琢磨により技術の向上や創造性の広がりをもたらし、そのコミュニティの中で時には安らぎや生きがいを感じさせてくれます。

文化協会は、文化団体の多くを統括し、日々の活動を支え発表の機会を提供して、登別市における文化の振興を支えてきました。

第2次基本計画が策定された平成27(2015)年に加盟団体29団体、会員約1,200人だった文化協会は、令和6(2024)年には27団体、約800人に減少しています。

各加盟団体では、学校、仕事や育児に時間を制約され若い世代の加入は少なく、文化を継承する人の高齢化もあり、団体活動の継続が困難になっています。

アンケートからも、文化活動をしている人の割合は、年齢とともに高くなる傾向にあります。サークルや団体に所属している割合も年齢とともに高くなり、若い世代になるほど団体に所属せず個々で文化活動をする人が多くなっています。

文化活動が多様化する中で、これまでの“団体に所属しての文化活動”は減少傾向にあり、登別市における人口減少も加速していることから、この状況はますます進むと考えられます。

このような状況下ではありますが、これまで団体活動がもたらしてきた効果を考えると、各団体が持続可能な活動のあり方を模索し、活動が継続されていくことは担い手を育成していくうえで重要です。

文化芸術活動を通じた文化の担い手づくり

文化芸術活動は、活動を通じて創造性を発揮し、培い、個性を伸長する、自発的で自主的な営みであり、文化芸術の鑑賞もまた同じです。

子どもたちの文化芸術活動に触れる機会をつくるために、小中学校を対象とする学校教育と連携した取組が実施されています。

小学校で実施されている和楽器に触れる授業では、文化協会の加盟団体が協力し、琴の演奏を鑑賞したり、体験する機会が設けられているほか、小中学生を対象とした「小中学生書初め展」が、毎年開催されています。

どちらも、限られた時間ではあるものの、子どもたちが文化芸術活動に触れる貴重な機会となっています。

過去には、民謡や吟道に触れる機会が市内小学校で設けられたり、小学生の俳句大会が開催されており、これらの機会を将来にわたって子どもたちに提供し続けることは、文化の担い手のすそ野を広げるためにも重要です。

また、登別市では、平成28(2016)年度から文化庁等の事業を活用し、全小学校の6年生を対象に文化芸術の鑑賞機会を設けています(新型コロナの感染拡大や不採択による未実施年あり)。

この事業は、国内トップレベルの文化芸術団体の公演を通じて、子どもたちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的に実施されているもので、鑑賞だけでなく、実際に体験する場が設けられることも魅力となっています。

将来の担い手づくりには、子どもを対象として文化芸術活動の機会を提供していくことが大切ですが、大人も含めた幅広い世代に対しての多彩な文化芸術に触れる機会と内容の充実も求められています。

文化活動をしていない人が参加したくなる機会や情報の発信の充実など、文化の担い手のすそ野を広げていくことが課題です。

子どもたちが文化芸術活動に親しむ場づくり

子どもたちの団体での文化芸術活動は、学校における文化部活動によって支えられてきたと言えます。学校部活動は、子どもたちが生涯にわたって芸術文化等の活動に親しむ基礎を形成するとともに、学習意欲の向上や責任感、連帯感のかん養等に資するものとされています。この活動は長らく、将来の文化の担い手のすそ野を広げる役割を果たしてきました。

しかしながら、市内の14歳未満の人口が急速に減少している中で、活動の種類や所属人員の減少が顕著で、部活動の存続が難しい状況になっており、子どもたちの文化芸術活動の場の確保や、今後、文化の担い手の育成をどのように進めていくのかが大きな課題となっていました。

本市では、この課題に取り組むため、「スポーツ及び文化芸術活動に親しむ機会を確保し、生涯を通じたスポーツ・文化芸術活動の基礎を培う」ことを目的として、令和５年度に財団が「登別市地域クラブ」（以下「地域クラブ」という。）を設立しました。

地域クラブでは、今後、市内の文化団体の協力による文化芸術の体験活動や気軽に触れることができる場づくりなどの実施を検討しており、子どもたちの文化への関心を高め、将来の文化の担い手を育成することが期待されています。

第２節 目標

文化のかおり高い、心豊かで魅力的なまちづくりを進めていくために、文化活動を通じた人と人との交流や、様々な主体による文化芸術事業の実施を通じて、文化活動へ一歩踏み出すきっかけをつくり、将来の担い手の育成や文化に親しむ人づくりを図ります。

第３節 施策の方向

- （１）文化団体の活動を活性化するため、団体同士の交流や活動情報の提供と団体の支援に努めます。
- （２）子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、財団や文化協会などの文化団体、学校教育と連携します。
- （３）文化の担い手を育成するため、文化芸術鑑賞の内容と機会の充実を図ります。
- （４）文化の担い手のすそ野を広げるため、持続可能な活動のあり方を模索する団体や新たな団体活動の支援に努めます。
- （５）子どもたちが気軽に文化芸術に親しむことのできる場を確保するため、地域クラブの活動を支援します。

第4章 歴史の保存と活用

第1節 現状と課題

歴史を語る文化財

登別市には、クッタラ火山により形成された国指定天然記念物「登別原始林」や炭化木、縄文時代を中心とした遺跡（埋蔵文化財）、現在まで続くアイヌ文化、明治時代以降の片倉家臣団や四国などからの北海道移住、かつてあった幌別鉱山、そして登別温泉やカルルス温泉の整備の過程に関する資料など、先人たちの歩んできた歴史を知ることができる文化財が数多くのこされています。

また、登別市の歴史を物語る文化財は、登別市内だけではなく宮城県白石市などの歴史的つながりのある土地にもものこされています。

歴史・文化を学ぶ場

これらの文化財は、市内においては郷土資料館やのぼりべつ文化交流館「カント・レラ」、幌別鉱山の遺構や資料、居住した人々の思い出を記録に残すことに取り組んでいるネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」などの公共施設のほか、民間の博物館である「知里幸恵 銀のしずく記念館」（以下「銀のしずく記念館」という。）等で展示、保管されており、見学やイベントへの参加を通じて学ぶことができます。

また、市内では多様な主体による講座や講演会等が開催され、学ぶ機会が充実してきています。

しかしながら、施設によっては旧耐震基準時の建物で耐震性が確保されていなかったり、バリアフリー化されていないなどの課題があります。

文化財の保存と施設の周知

郷土資料館は昭和56（1981）年に開館して以来、現在に至るまで、市内外から登別市に関する資料が寄贈されていますが、収蔵庫が狭小で、飽和状態にあることが長く課題となっています。まちの歴史や文化を継承していくための文化財として、将来にわたってのこす必要のある文化財を適切に保管するために、収蔵スペースの確保が必要となっています。

のぼりべつ文化交流館「カント・レラ」では、埋蔵文化財を保管・展示し、市内小学校の総合学習等で活用されています。このことから、第2次基本計画策定時に比べ、市民の認知度は上がっています。

一方で、施設自体の老朽化が著しいなどの課題や将来の人口推計や市の財政状況等を総合的に勘案すると、同館を廃止して郷土資料館に統合し、保管と併せ展示内容等を充実させ、その情報を広く発信していく必要があります。

歴史・文化の継承

登別市では、特に地域において重要な価値を持つ文化財を指定しており（登別市指定文化財）、現在は有形8件、無形1件、記念物1件となっています（詳細は22ページの一覧参照）。

無形民俗文化財「幌別鉦山獅子舞」は、鉦山の閉山とともに継承する人や披露する場が鉦山地区から離れたものの、活動の場所を変えて現在まで続けられています。しかしながら、次代の担い手の確保などその継承は年々難しくなっています。

また、文化財指定されたものだけでなく、昭和30（1955）年代から50（1975）年代にかけて、地域で創作された「鷺別子ども獅子舞」、「幌別駒おどり」や「熊舞」のような郷土芸能も同様の課題があります。

特に、学校教育の場で継承されてきた芸能は、地域の指導者の高齢化や不在などにより、大きな影響を受けることになります。

近年、登別市では学校の適正配置を進めており、学区が広域となる中で、「郷土芸能」をどのように継承していくかということも課題となっています。

民俗文化財や郷土芸能、各地にのこる歴史資料だけでなく、“歴史”自体の継承も重要です。学校教育においては、小学校3・4年生が使用する社会科副読本に、まちの歴史が平易な文章で掲載されているほか、郷土資料館等での見学を通じて、子どもたちは学ぶことができます。

昭和42（1967）年に刊行された『登別町史』、昭和60（1985）年の『市史ふるさと登別』、令和2（2020）年の『新登別市史』も、登別市の様々な分野の歴史を網羅している意味で、歴史の継承に大きな役割を果たしています。

また、市立図書館も膨大な図書を有することはもちろん、登別市やゆかりのある人に関する様々な図書や資料を収集・保管し、市民からの問

い合わせに応えるなど身近な歴史・文化を次代につないでいく場といえます。

歴史・文化の調査研究と活用

市の指定文化財は、第2次基本計画の策定以降、4件増加しています。文化財指定をするためには、調査研究を行い、その対象がまちの歴史や文化にとってどのように重要であるか、貴重であるかを判断します。

また、指定した文化財については、登別市の公式ウェブサイトに掲載し、市民がインターネットでその情報を得て、自らが住むまちの文化財を知り、将来に継承していくことができるようになっていきます。

近年、郷土資料館では、寄贈を受けた資料の目録整備・写真撮影を行い、約2万点の資料をデジタルデータとして蓄積していますが、市民がそのデータにアクセスできる環境にはなっていません。

資料の魅力を発信するために、令和3（2021）年度から北海道デジタルミュージアムという北海道内の博物館・美術館等の施設情報や、施設に収蔵されている資料・作品を集約する「横断検索ポータルサイト」に郷土資料館を掲載し、資料の一部を公開しています。

このサイトは、国立国会図書館が運用する「ジャパンサーチ^{※5}」という国内にある様々な分野を検索・閲覧・活用できるプラットフォームにつながっており、そこから郷土資料館の所蔵資料を見つけ出すことも可能になっています。

これにより、海外などからのアクセスを可能にするだけでなく、新型コロナ以降、ICT環境の整備が急速に進展した学校現場での活用も期待できます。デジタルアーカイブ化^{※6}を推進し、誰もがまちの歴史・文化に親しみ、関心を持つことのできる環境を充実させていくことが必要です。

アンケートにおいて、登別市の歴史や文化財を未来に保存し、伝えていくため行政に求めることとして、“歴史資料の適切な保存・管理”に次いで、“歴史を学ぶ講座などの機会の充実”と回答した市民が多いですが、デジタルアーカイブなど文化財のを活用するためにも、その基礎となる調査研究を進めることも大切です。

第2節 目標

登別市に伝わる文化財を大切にし、まちの歴史と文化を学び、自分たちが住むまちへの愛着を醸成します。

第3節 施策の方向

- (1) まちの歴史や文化に対する理解や学びを促進させるため、博物館における展示や学習機会の充実を図るとともに、情報の発信に努めます。
- (2) 歴史や文化を後世に伝えるため、文化財の保護に努めます。
- (3) 市民の共有財産である文化財を適切に保管し、後世に継承するため、郷土資料館の収蔵庫の整備を進めます。
- (4) 市内の民俗芸能を継承する取組を支援するとともに、記録保存に努めます。
- (5) 登別市と歴史的関係の深い地域も含めた歴史・文化の調査研究を進めるとともに、デジタルアーカイブ化を促進し、市民等が様々な場で活用できるようにすることで、地域文化の振興を図ります。

第5章 アイヌ文化の振興

第1節 現状と課題

アイヌの人たちの歴史

市内では、縄文文化の時代から生活の跡が見つかっており、その後の続縄文文化から擦文文化にかけて、本州との交易で鉄の道具を手に入れて、大陸との交流も盛んになっていきました。

長い年月の中で、様々な地域の文化と交わることで、アイヌの人たちの文化が、時代ごとに形成されていき、現在へつながっています。

登別市内にも、市名になっている「登別（ヌプルペツ）」をはじめ、地名にまつわる物語が残されている場所※⁷もあり、古くからアイヌの人たちの営みがあったことがわかります。

江戸時代には、「場所」と称されるアイヌの人たちと和人※⁸との交易の場が北海道内に50程度あったとされ、登別市にもありました。しかし、時間が推移し場所の経営が変化していく中で、アイヌの人たちが労働力として使役されるようになります。

明治時代以降、国により北海道の「開拓」が進められ、アイヌの人たちの伝統的な儀式や風習、自由な山や海での狩猟や漁の禁止、和名への改名などの同化政策により、それまでの生活を続けることが困難な状況を強いられることになります。

特に、日本語を話すことを強いられたことにより、徐々に独自の言語が失われ、現在では話せる人も少なくなっています。

登別市にゆかりのある人々

登別市では、アイヌの人たちに伝わってきたカムイユカラを、彼ら自身が自らの言語で表した初めての本『アイヌ神謡集』を著した知里幸恵^{ちりゆきえ}、弟でアイヌ語研究者の知里真志保^{ちりましほ}、彼らの伯母であり膨大なユカラ等を筆録した金成マツ^{かななり}などを輩出し、現在までアイヌ文化研究に大きな影響を与えています。

また、そのほかにも、近代に行われた研究者によるアイヌ文化研究のための実地調査に協力した板久孫吉^{いたくまごきち}や、知里真志保の友人であり、登別

市にできた北海道曹達株式会社の初代社長で、アイヌ語地名研究に多大な功績を残した山田秀三^{やまだひでぞう}、アイヌの人たちが残した衣装を基に独学で伝統的な刺しゅうの技術を習得し、アイヌ文化の復興、普及啓発、後身の育成に努めた上武やす子^{うえたけこ}らがいます。

特に、知里幸恵はアイヌ語の音をローマ字で表し、さらに日本語の翻訳を併記したことから、その著書は文字で記された初めての「アイヌ文学」と言われ、現在も多くの人に読まれ親しまれています。

登別市には、彼女の生涯や功績を、本人の手紙や写真等の資料を展示して紹介する銀のしずく記念館があります。ホームページの整備やSNSでの発信、企画展や学習会の開催など、銀のしずく記念館の運営主体であるNPO法人知里森舎の精力的な活動により、同館の入館者数は徐々に増加しています。

しかしながら、アンケートでは、回答者の約90%が行ったことがないと回答しており、依然として市民の認知度は低い現状にあります。

アイヌ文化の復興と継承

アイヌ文化の復興と継承については、これまで登別アイヌ協会（旧北海道アイヌ協会登別支部）による「ペッカムイノミ^{※9}」などの生活文化に関する伝統的な儀式の復興と継承、「知里真志保を語る会」によるアイヌ文化・歴史に関する講演会や『アイヌ神謡集』・『室蘭・登別のアイヌ語地名』の復刻版など書籍の発行、市民団体による刺しゅう教室とアイヌ民族衣装展が開催されてきました。

文化の復興や継承には、次代の育成が重要ですが、どの団体も会員の減少や高齢化などにより、活動の継続が困難になってきています。

登別アイヌ協会では、持続的な開催を可能とするため「ペッカムイノミ」から村の繁栄を祈願する「コタンノミ^{※10}」に変更し、「アシリパノミ^{※11}」とともに、儀式や祝詞の意味を参列会員に解説しながら行うなど、文化の継承に努めています。

また、アイヌ文化復興の大きな柱の一つである「言語」については、アイヌ語ゼミナールが開催されたり、令和5（2023）年3月に開館した観光交流センター「ヌプル」（以下「ヌプル」という。）内のエレベーターやトイレなどの表示に、市民の有志で検討したアイヌ語を用いるなど、登別市でも少しずつ復興の取組が進められています。

一方で、令和5（2023）年度に北海道環境生活部が実施した北海道

アイヌ生活実態調査によれば、自身が差別を受けたことがあると回答した人が全体の29.0%、身近な人が受けたと答えた人が38.1%となっており、その差別もSNSなどインターネット上での書き込みが最も高くなっています。

登別市においては、令和2（2020）年12月発行の『新登別市史』に初めてアイヌの人たちに関する項目が1章設けられ、歴史から登別アイヌ協会の活動記録に至るまで幅広く知識を得ることができるほか、子どもたちへは小学校の社会科副読本でアイヌの人たちの歴史や文化を学ぶ機会を提供しています。

次代の育成、文化の復興と継承を推進するためにも、アイヌ文化に対する基礎的な知識とともに、広く少数民族への理解を深め、私たちが互いのアイデンティティを尊重し合うことが重要です。

私たちの住む土地が育んできた大切な文化

アンケートで関心のある分野を聞いたところ、アイヌの人たちの歴史に次いで関心が高かったのが刺しゅうです。平成9（1997）年度からは、上武やす子による刺しゅう教室が始まり、平成18（2006）年度からはアイヌ文化講座という名称で主に刺しゅうを中心としたモノ作りの講座が登別市の福祉関連部署で実施されました。

現在はアイヌ文化を初めて学ぶ人向けに、歴史・文化・モノ作りを体験できる講座として、講演を中心とした同名の講座とともに教育委員会主催で開催されています。そのほか、研究機関などが主催するオンラインによる講演会が一般向けに開催されるなど、市民のアイヌ文化を学ぶ機会は充実してきています。

令和元（2019）年5月、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律（以下「アイヌ施策推進法」という。）」が施行されました。

施行に伴い、登別市では「登別市アイヌ施策推進地域計画」を策定し、国の交付金を活用して様々なアイヌ文化関連事業を実施しています。

一例として、登別市におけるアイヌ文化等の情報発信の拠点施設であるヌプルの建設、関係団体が所有する資料の目録整備、郷土資料館のアイヌ文化展示のリニューアル、学校を含む公共施設へのアイヌ文様のタペストリーの設置、市の公式ウェブサイト上にアイヌ文化を紹介するサイトの開催、登別地区を中心としたアイヌ文化関連の史跡を巡るマップ

の製作など、登別市のアイヌ文化を普及・啓発する様々な事業が行われ、日常生活の中でアイヌ文化に触れる機会も増えてきています。

また、『ゴールデンカムイ』等の漫画や関連映画の上映等によってこれまで関心があまりなかった幅広い対象がアイヌ文化に触れるようになったほか、令和2（2020）年に隣町白老町にアイヌ文化の復興・創造等の拠点となるナショナルセンターである民族共生象徴空間「ウポポイ」がオープンし、市民のアイヌ文化への関心は高まっています。

関心の高まりを一過性にすることなく、アイヌの人たちの歴史や文化が、現在の登別市を形作る一つであることを市民一人ひとりが認識できるよう、学びの場を継続する必要があります。

第2節 目標

アイヌ文化が、この土地で育まれてきた大切な文化であることを認識し、アイヌの人たちの歴史、文化への理解を深め、自分と異なる他者を尊重する真の多文化共生の実現に努めます。

第3節 施策の方向

- （1）この土地で育まれてきたアイヌ文化の復興と継承のため、博物館などの関係機関と連携・協働し、調査研究を進めるとともに、関係団体との相互扶助を図ります。
- （2）市民のアイヌ文化に対する関心を高めるため、登別市にゆかりのある人々や関連史跡、学ぶことができる施設の情報を様々な方法で広く発信するほか、博物館施設の展示の充実や学校教育での活用などを図ります。
- （3）市民がアイヌの人たちや少数民族の歴史や文化に関する知識等を学ぶことができる講座などを開催したり、様々な学習情報を発信し、理解を深める機会の提供に努めます。

語句説明一覧

- ※1 ICT…Information and Communication Technology の略で、「情報通信技術」を意味します。ただし、情報処理や通信技術そのものだけでなく、通信機器やソフトウェア、それを活用した多様なサービスの総称としても使われます。
- ※2 ウェルビーイング…世界保健機関（WHO）憲章の前文、「Health(健康)」を定義する文章の中で「well-being（ウェルビーイング）」という言葉が使われています。現在では、「ウェルビーイング」はこの「健康」と同様の概念を持つ言葉として広く使われています。心身だけでなく、社会的にも、すべてが満たされた状態にあることが「ウェルビーイング」です。（公益社団法人日本 WHO 協会公式ウェブサイト参照）
- ※3 S N S…Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。Facebook や Instagram、LINE などのインターネット上のコミュニケーションを主目的としたサービスのこと。
- ※4 Wi-Fi 環境…ワイファイ。無線で通信するパソコンやタブレット、スマートフォンなどのネットワークに対応する端末が、ケーブルなどの有線ではなく、無線の電波により接続ができる規格が整備された場所のこと。
- ※5 ジャパンサーチ…国内の幅広いデジタルアーカイブと連携し、まとめて検索・閲覧・活用できるフォーム（入力フォーム）で、図書館・博物館・美術館・公文書館・大学などの機関が所蔵している書籍・公文書・文化財・美術・人文学・放送番組など多岐にわたる分野を探すことができます。利用条件が明記されているので、デジタルコンテンツを利活用することが可能。
- ※6 デジタルアーカイブ化…デジタル技術を用いて作成されたアーカイブの意味。
アーカイブとは、公共性や文化的な価値が高く、将来にわたって保存する価値のある資料を記録し保存すること。
- ※7 地名にまつわる物語がのこされている場所…市内には「アフルパル（あの世の入口）」や「フンペサパ（フンベ山、クジラの頭）」のように、地名の意味を伝える物語が伝えられています。
詳しくはこちらをご覧ください。
<http://www3.city.noboribetsu.lg.jp/ainu/tales/>



- ※8 和人…日本列島のうち、日本語を母語とし本州、四国、九州に住んできた人々。
アイヌ語ではシサム（sisam）と言います。
- ※9 ペッカムイノミ…秋に川を遡上するサケ（カムイチェブ kamuy-cep）を迎える儀式。川神祭り。
- ※10 コタンノミ…村（コタン kotan）での祈り。地域の安寧を祈る儀式。
- ※11 アシリパノミ…新年（アシリパ asirpa）を迎える儀式。

登別市指定文化財一覧

No.	種別	名称	指定年月日 指定番号
1	有形文化財	円空作観音像	平成5(1993)年9月2日 登別市指定文化財 第1号
2		円空作聖観音像	平成5(1993)年9月2日 登別市指定文化財 第2号
3		高村東雲作観音像	平成5(1993)年9月2日 登別市指定文化財 第3号
4		日野愛憲の「明治2年以降 片倉家北海道移住顛末」	平成5(1993)年9月2日 登別市指定文化財 第4号
5		黒澤家史料	平成10(1998)年2月10日 登別市指定文化財 第7号
6		幌別村役場文書	平成31(2019)年4月26日 登別市指定文化財 第9号
7		片倉家主従開拓記念碑	令和4(2022)年3月30日 登別市指定文化財 第10号
8		丈草の記	令和5(2023)年2月24日 登別市指定文化財 第11号
9	無形民俗文化財	幌別鉦山獅子舞	平成5(1993)年9月2日 登別市指定文化財 第5号
10	記念物	登別化石林の炭化木(トドマツ)	平成29(2017)年2月1日 登別市指定文化財 第8号

※登別市指定文化財第6号「札内神楽獅子舞」については、保存会が解散したことに伴い、平成25(2013)年1月に指定解除となっています。

*指定文化財の詳細については、下記URLもしくは二次元コードからご覧ください。

URL:<https://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/shiteibunkazai/>



◆ 登別市における将来推計人口

	2010年	2020年	2023年	2025年	2030年	2040年	2050年
計(人)	51,500	46,391	44,451	42,195	39,150	32,770	26,963
	11.0%	4.4%	0.0%	-5.1%	-11.9%	-26.3%	-39.3%
0～14歳	6,086	4,775	4,167	3,921	3,308	2,543	2,092
	46.1%	14.6%	0.0%	-5.9%	-20.6%	-39.0%	-49.8%
15～64歳(A) (生産年齢人口)	30,802	24,288	23,448	21,781	20,235	15,962	12,136
	31.4%	3.6%	0.0%	-7.1%	-13.7%	-31.9%	-48.2%
65歳～(B) 高齢化率 ※総人口に占める 65歳以上の割合	14,612	17,328	16,836	16,493	15,607	14,265	12,735
	-13.2%	2.9%	0.0%	-2.0%	-7.3%	-15.3%	-24.4%
A÷B (高齢者1人を支える 生産人口数)	2.1人	1.4人	1.4人	1.3人	1.3人	1.1人	1.0人
75歳～ □人に1人 ※小数点以下 は四捨五入	8,754	9,029	9,553	10,230	10,486	8,717	8,043
	6人	5人	5人	4人	4人	4人	3人
85歳～	1,862	2,761	2,992	3,265	3,802	4,443	3,336

2010年 国勢調査

2023年(12月31日現在)「指定区別年齢別男女別人口調」(登別市公式ウェブサイト)

2020年、2025年以降

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

<https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson23/t-page.asp>

※人口に占める3世代の増減割合については、2023年を基準としています

「第3次登別市文化振興基本計画検討会議」委員一覧

	氏 名	選出分野	推薦団体等（役職）	その他主な 所属団体
1	大 野 薫 （座 長）	文化団体	登別市文化協会（副会長）	江戸芸 かっぱれ 登別道場
2	堀 井 貴之 （副座長）	関連団体	一般財団法人登別市文化・ス ポーツ振興財団（専務理事）	
3	榎 木 鼓	一般公募	ピアノ教室（主宰）	
4	八重樫 清治	一般公募	幌別鉦山獅子舞保存会（会長）	登別郷土 文化研究会
5	小 坂 博 宣	アイヌ文化	登別アイヌ協会（顧問）	登別市文化 財審議会
6	松 本 徹	アイヌ文化	NPO法人知里森舎（理事長）	知里真志保 を語る会
7	大 坂 倫 一	文化団体	登別市文化協会（事務局長）	登別郷土 文化研究会
8	坂 井 美和子	文化団体	登別市文化協会（会計委員）	登別合唱 協会
9	本 多 千香子	文化団体	登別市文化協会（事務局員）	登別着物を 楽しむ結の 会
10	玉 田 光 司	文化財	登別市文化財審議会（委員）	登別郷土 文化研究会
11	川 島 芳 治	関連団体	登別市社会教育委員の会（委員長）	

検討会議開催日

第1回 令和6年7月26日（金）

会議の進め方／計画の策定概要／第2次計画期間の成果
アンケートの実施／課題の共有

第2回 令和6年10月30日（水）

アンケート結果／計画の素案説明

第3回 令和6年12月10日（火）

計画の素案協議

第4回 令和7年1月9日（木）

計画の素案協議

第5回 令和7年3月6日（木）

意見公募の実施結果／最終案

資料

アンケート結果

- 結果・分析
- 数値一覧
- アンケート

アンケート結果

1 調査の目的

このアンケート調査は、「第3次登別市文化振興基本計画」を策定するための基礎資料とするため、登別市の文化と歴史について実施したものです。この結果で、「前回調査」としているのは、「第2次登別市文化振興基本計画」策定時に実施したアンケート（平成26（2014）年実施）のことを指しています。

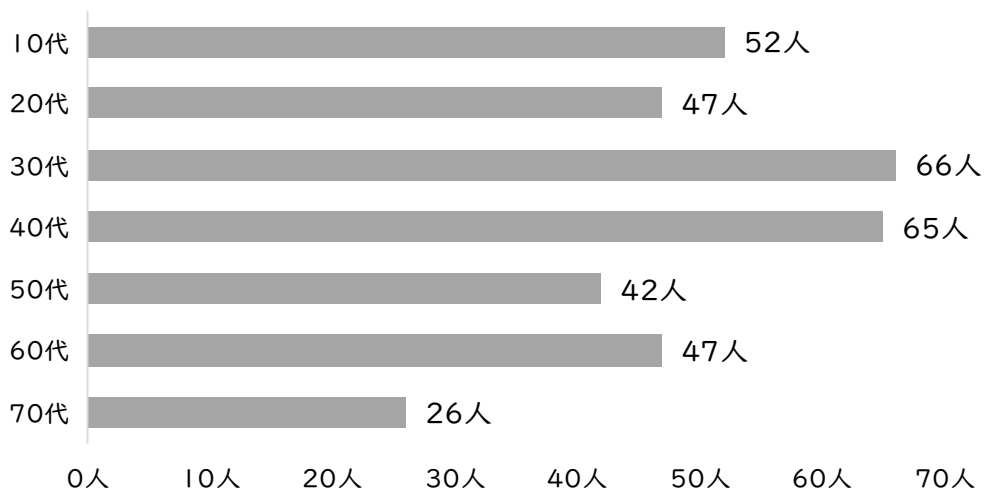
2 調査について

- (1) 地域 登別市全域
- (2) 対象 15歳から85歳までの市民1,981名を世代別（同数）に無作為抽出しました。世代は、20代が20～29歳のように10歳単位ですが、10代は15歳からとし、70代は85歳まで含んでいます。
- (3) 方法 電子申請フォーム
- (4) 期間 令和6年8月23日～9月20日

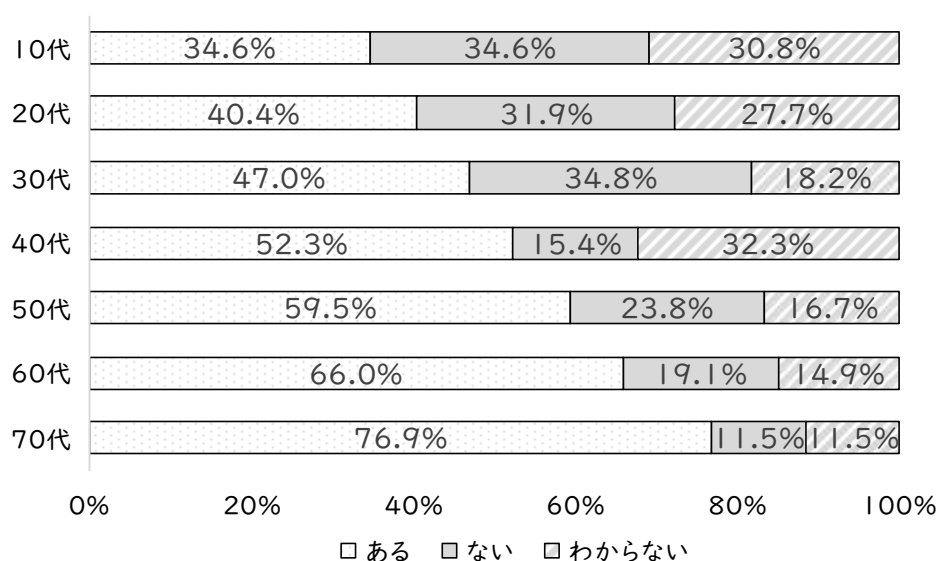
3 結果

- (1) 回収数 345名（17%）
- (2) 「N」は設問に対する回答者数（母集団）

世代別回収数



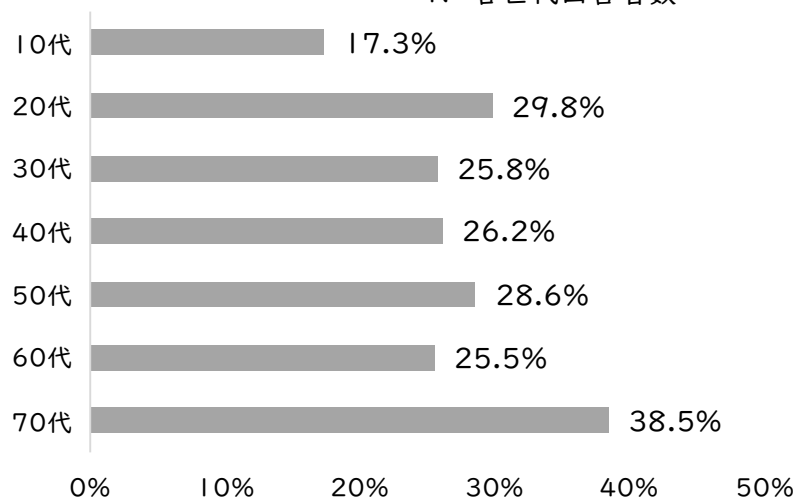
問1 文化に関心がありますか？ N=345



- ◆ 「文化に関心がある」と回答した割合は、70代の76.9%を最大に、世代が上がるにつれ割合が増加し、世代と強く関係していることがわかります。一方、「文化に関心がない」と回答した割合は、前回調査で最も多かった10代を30代がわずかに上回りました。また、関心がない人の割合は、40代が70代に次いで少なく、必ずしも関心があるとの回答に反比例していません。

問2 文化活動をしていますか？

N=各世代回答者数

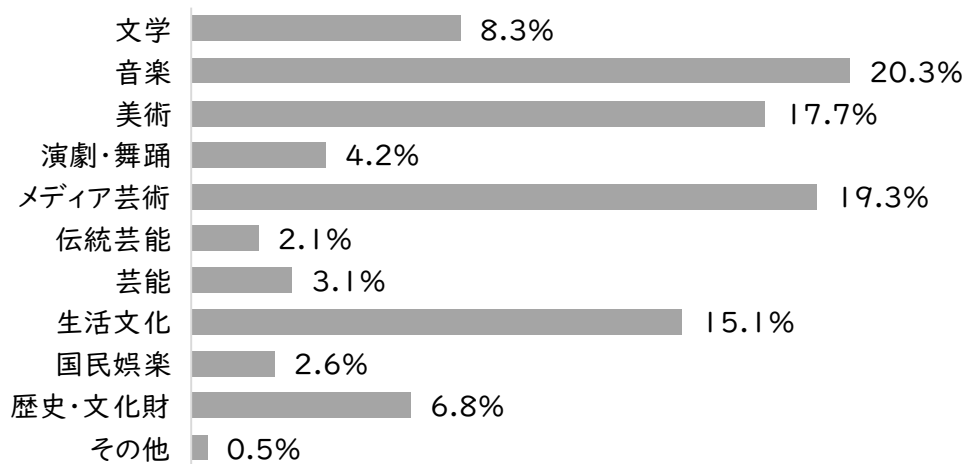


- ◆ 文化活動をしている人の割合は、前回調査で30～40代が10%未満と最も低くなっていたのに対し、今回は10代が17.3%と最も低い結果となりました。前回と変わらず全世代で一番割合が高かったのは70代で、割合もほぼ変わりません。20代は、映画鑑賞や漫画などのメディア芸術の割合が高い可能性があります。30～60代は、問1の回答との関係から、文化への関心はある程度あるものの、実際の活動は少ないことが読み取れます。

問3 よくしている文化活動は何ですか？

(複数回答)

N=192



◆ 問3は、問2で「文化活動をしている」と回答した方への問いです。

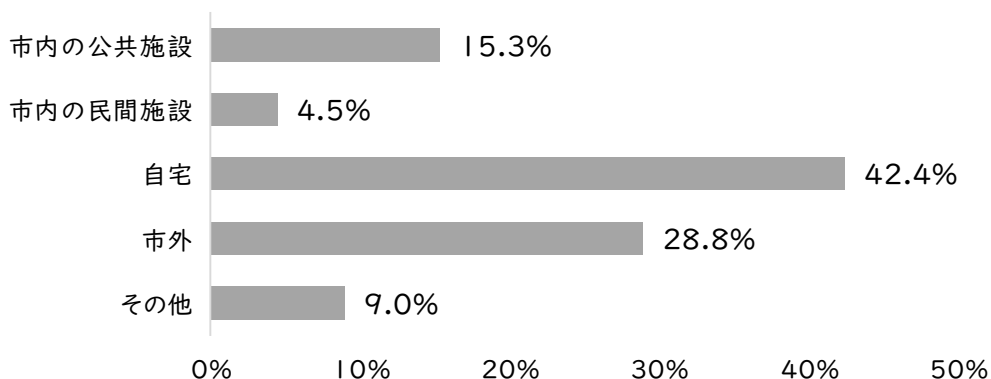
前回調査では、「生活文化（茶・花・園芸・書・料理など）」が最も高く、次いで「音楽（演奏・合唱・民謡など）」でしたが、今回は「音楽」が最も高くなり、「生活文化」は4番目となりました。逆に前回4番目だった「メディア芸術（映画・漫画・アニメーションなど）」が、20代、30代での割合が高くなったことで、「音楽」に次ぐ結果となりました。「メディア芸術」を選択した回答者の多くは、見たり読んだりする鑑賞による文化活動と思われます。

また、前回調査で50代以上で高かった「演劇・舞踊」や「芸能」は大きく割合を減らしました。

問4 どこで文化活動をしていますか？

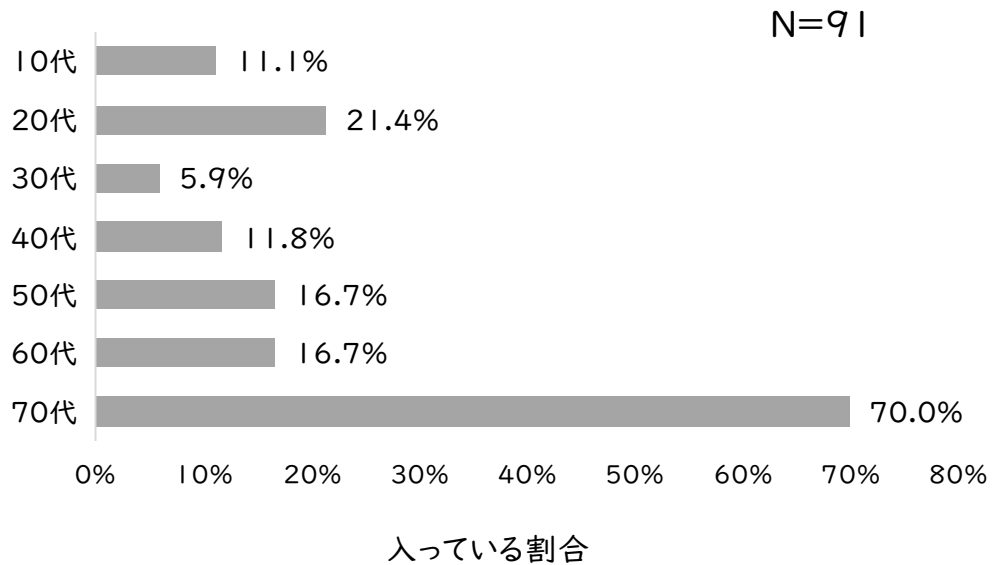
(複数回答)

N=111



◆ 前回調査で「自宅」と僅差で一番割合の高かった「市内の公共施設」が激減しています。これは、前回調査で市内の公共施設利用者として高い割合を占めていた50代以上の回答が少なかったことも影響していると見られます。「自宅」に次いで多かったのが「市外」で、室蘭市、札幌市、苫小牧市、白老町がその多くを占めます。室蘭市と苫小牧市に関しては、映画の鑑賞が主な文化活動と見られます。

問5 サークルや団体、教室等に入っていますか？

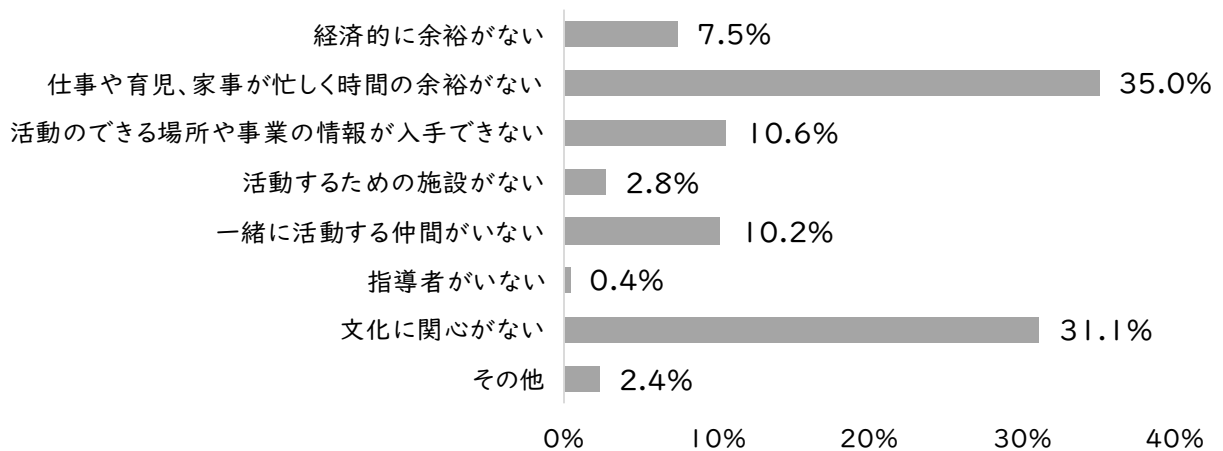


◆ 問5は、問2で「文化活動をしている」と回答した方への問いです。

文化活動をしている人の加入率は、30代が5.9%と最も低くなっています。仕事をする現役世代であるためか、40～60代は少ない傾向が見られます。問2の文化活動の結果と比較的類似しています。70代の割合が圧倒的に高く、団体活動をする世代に大きな偏りが見られます。

問6 文化活動をしていないのはなぜですか？

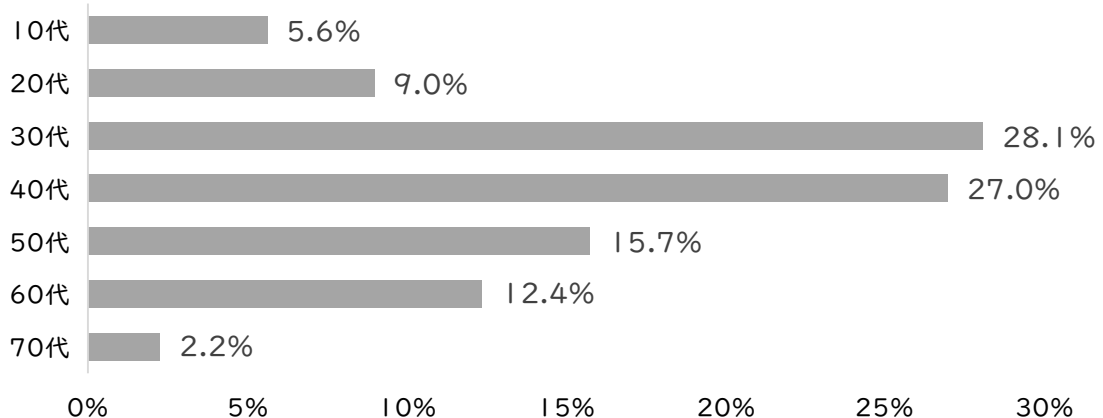
N=254



問6 参考

仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がないと回答した方の割合

N=89



◆ 問6は、問2で「文化活動をしていない」と回答した方への問いです。

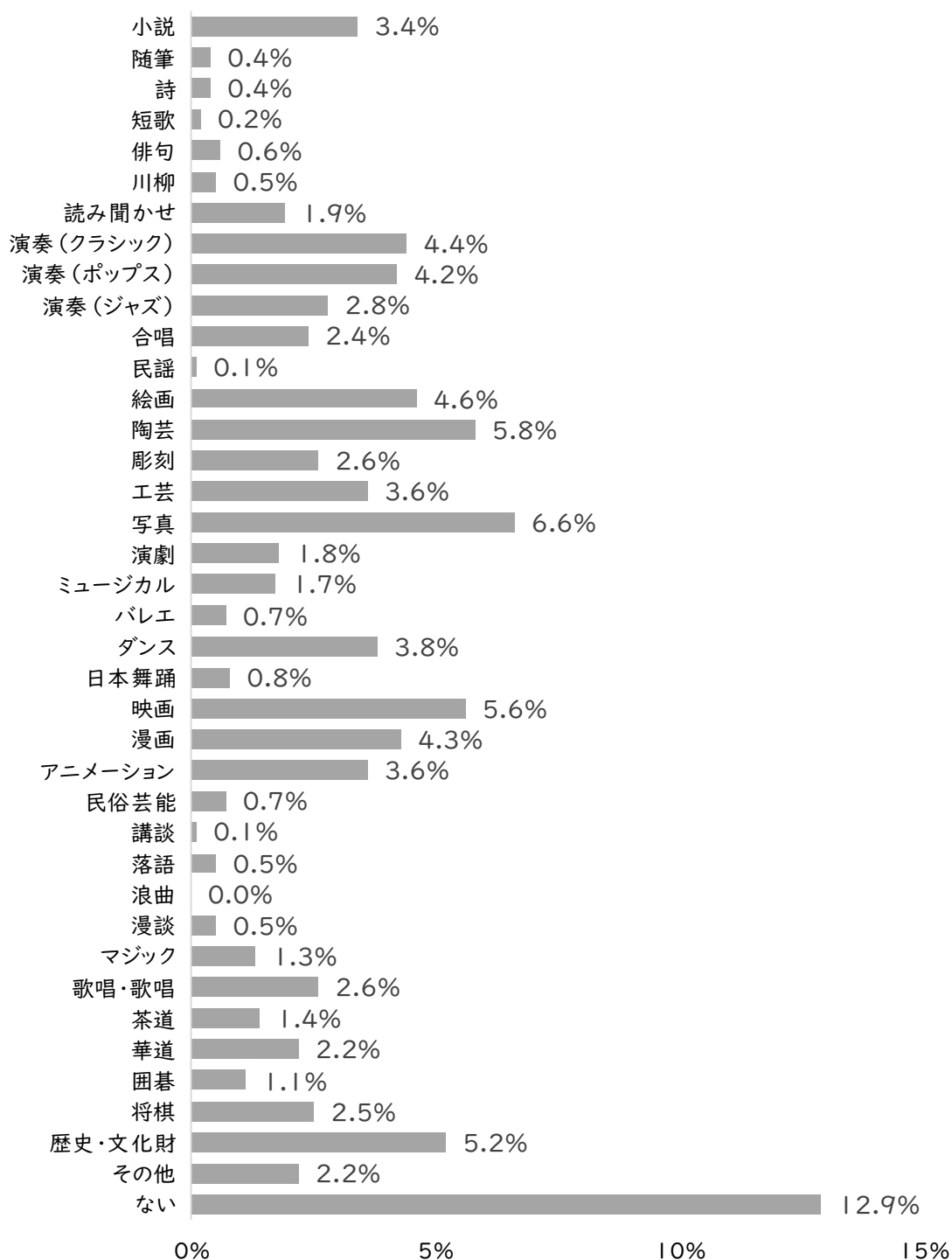
理由として最も多いのが、35.0%の「仕事や育児・家事が忙しく時間の余裕がない」、次いで「文化に関心がない」でした。

「その他」とした回答も、概ねこの2つと同様の回答です。時間の余裕がないことを理由とした回答は、30～40代が高くなっています。

一方、「関心がない」割合は10～30代で高くなっています。その内の一部は、問7の「今後してみたい文化活動は何か」という設問で文化活動を選択していますが、10代の20.4%が「(してみたい活動は)ない」と回答しており、本来は身近にあるはずの「文化活動」を遠い存在に感じていることがわかります。

問7 これからも、また今後してみたいと思う文化活動は
どれですか？ ※鑑賞は含みません （複数回答）

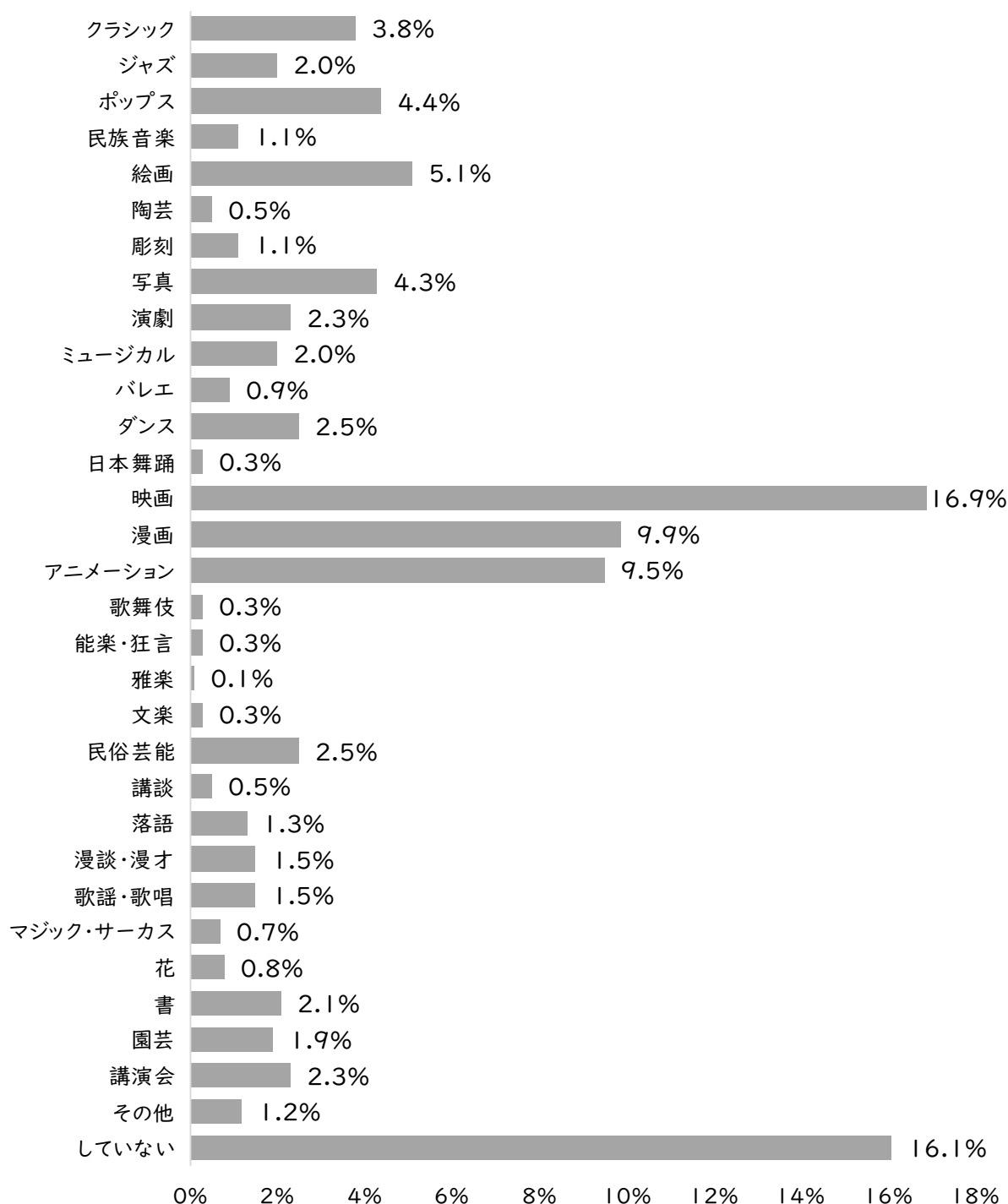
N=834



- ◆ 「ない」を除けば、「写真」が最も多く、次いで「陶芸」、「映画」、「歴史・文化財」となっています。「写真」を選択したのが20～40代で多いことから、特別な機材を用いなくても写真撮影ができるようになってきていること、SNSが発達し、個人が携帯電話などを通じて簡単に情報を発信できるなかであって、写真を利活用することが増えていることが要因かもしれません。「その他」の記載では、ほぼ全ての世代で「書道」があげられています。

問8 この1年間で鑑賞したものはどれですか？
(複数回答)

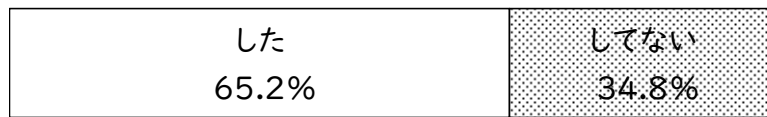
N=746



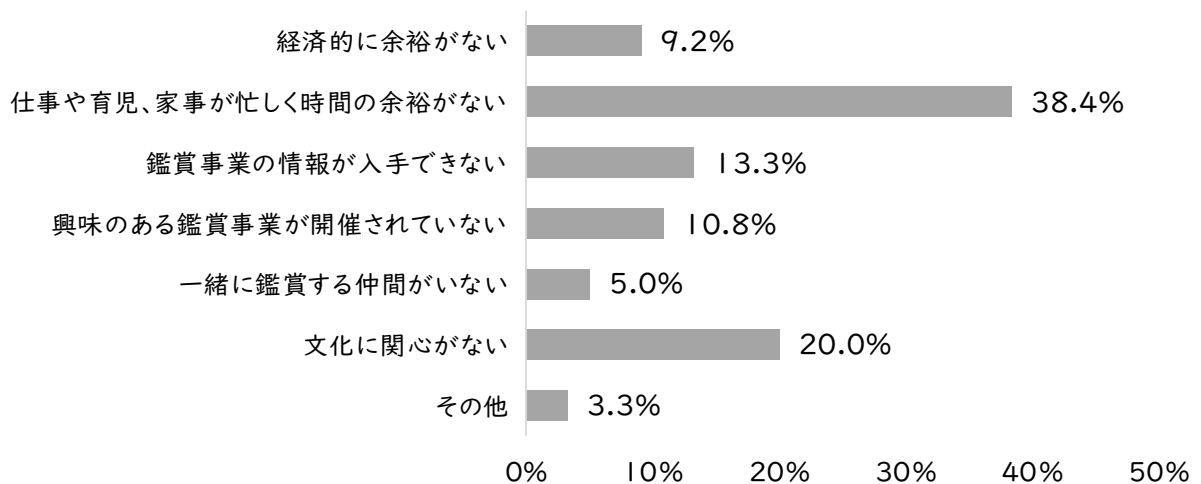
◆ 「していない」を除けば、「映画」、「漫画」、「アニメーション」の順で高い割合となっています。「映画」は、ほぼ全世代で一番高い割合となっており、鑑賞できる身近な文化活動であることがわかります。「漫画」、「アニメーション」は10～50代で高い割合となっており、前回調査よりも世代の幅が広がっています。

問8 参考

この1年間で文化芸術を鑑賞した人の割合



問9 鑑賞していないのはなぜですか？



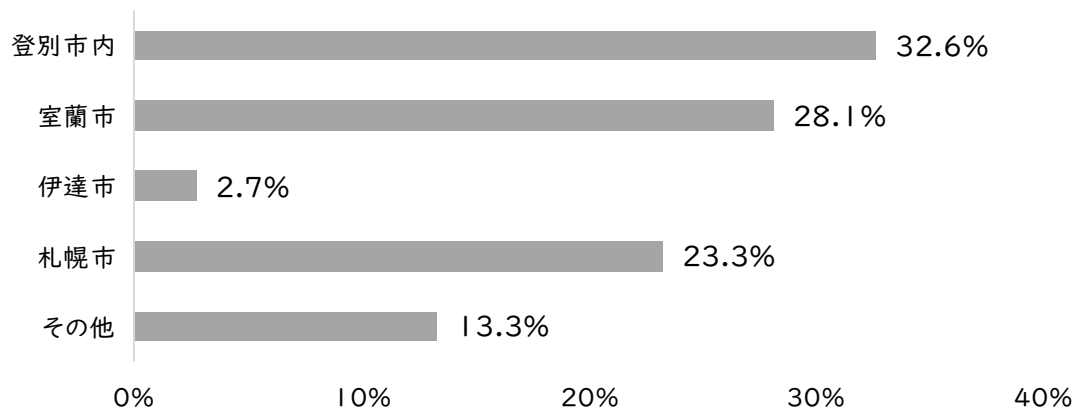
◆ 問9は、問8で「鑑賞していない」と回答した方への問いです。

「仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない」がほぼ全ての世代で高く、次いで問6の文化活動をしていない理由と同様に「文化に関心がない」となっています。

70代では「鑑賞事業の情報が入手できない」が高くなっています。

問10-1 どの地域で鑑賞しましたか？(複数回答)

N=331



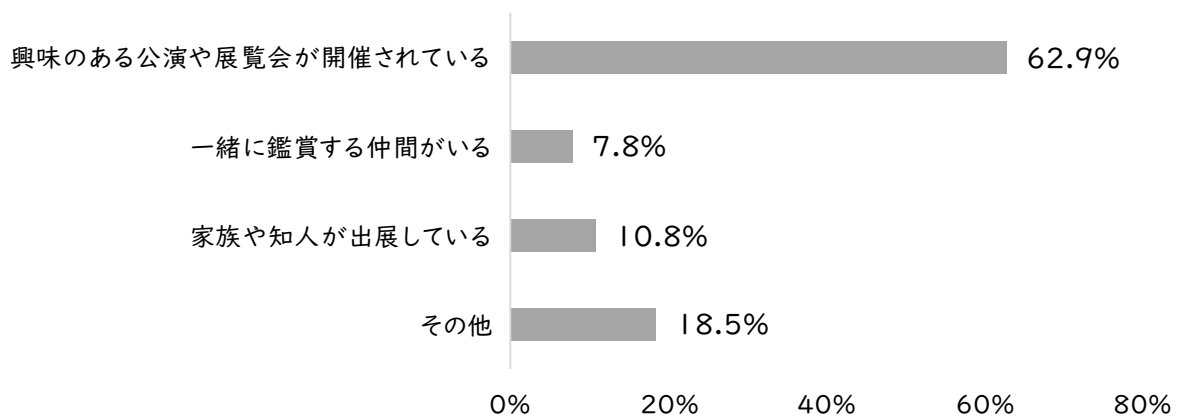
- ◆ 前回調査において、「登別市内」と「室蘭市」・「伊達市」での鑑賞は約90%でしたが、今回は約63%に止まりました。しかしながら、その他の地域を見てみると「苫小牧市」、次いで「白老町」が多く、近隣で鑑賞していることがわかります。

問10-2で「その他」を選択した方の記載内容を見ると、「室蘭市」・「苫小牧市」は、映画館があることにより割合が高くなっているようです。

また、少数ながら10代、40代で YouTube で鑑賞していると回答した方もいました。

問10-2 市外で鑑賞したのはなぜですか？

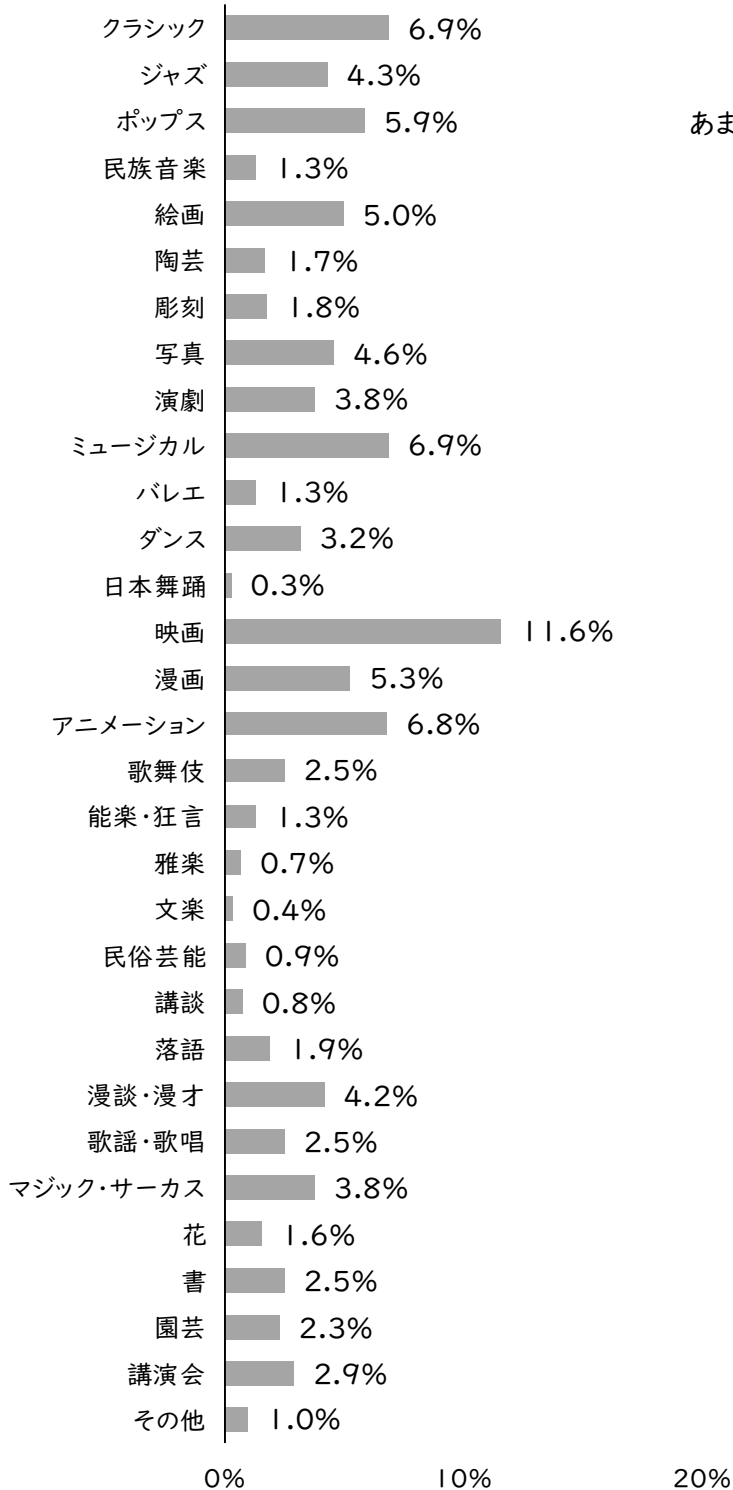
N=167



- ◆ 「その他」の記載内容を見ると、映画館があることを理由にしている方が特に多く、白老町のウポポイと記載してる方もいました。いずれも、割合が最も高い「興味のある公演や展覧会が開催されている」と類似した回答と考えられます。

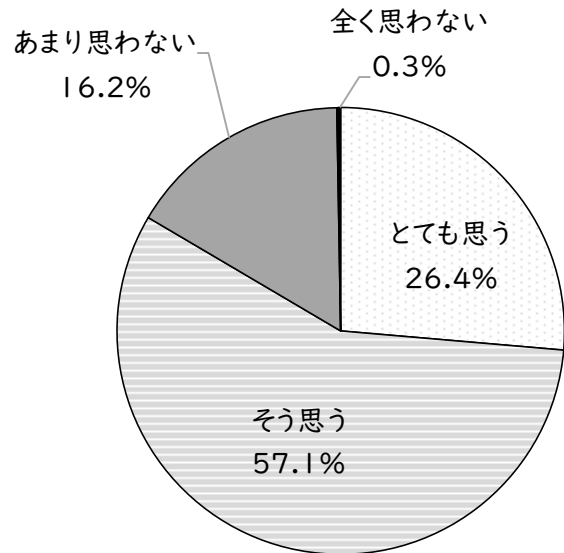
問11 今後、鑑賞したいと思うものは
どれですか？（複数回答）

N=1152



問12 文化活動は人が豊かな生活を送るために必要だと思いますか？

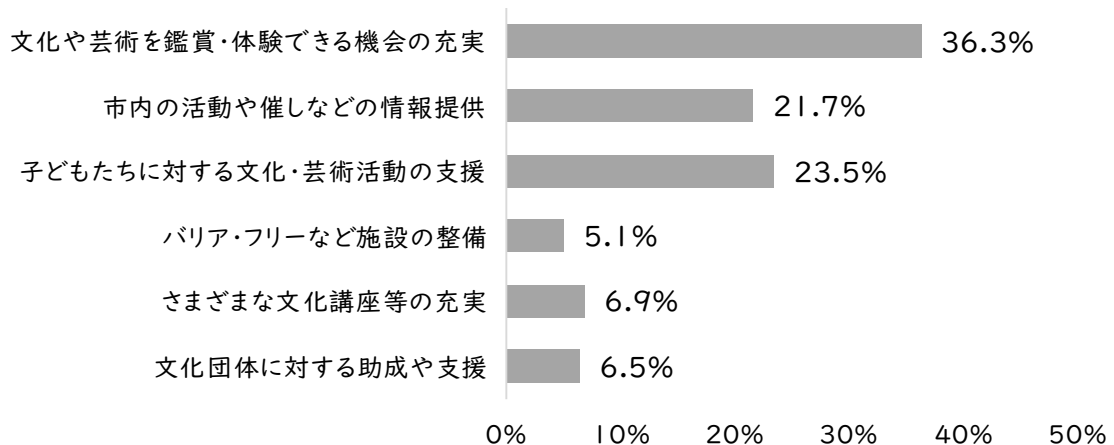
N=345



◆ 「とても思う」、「そう思う」が83.5%と多数を占めており、問1で「文化に関心がない」と回答した方でも、文化活動が人の豊かな生活において必要であるとの認識を持っていることがわかります。

問13 登別市の文化振興のため行政に求めることは
 なんですか？（2つまで回答）

N=553



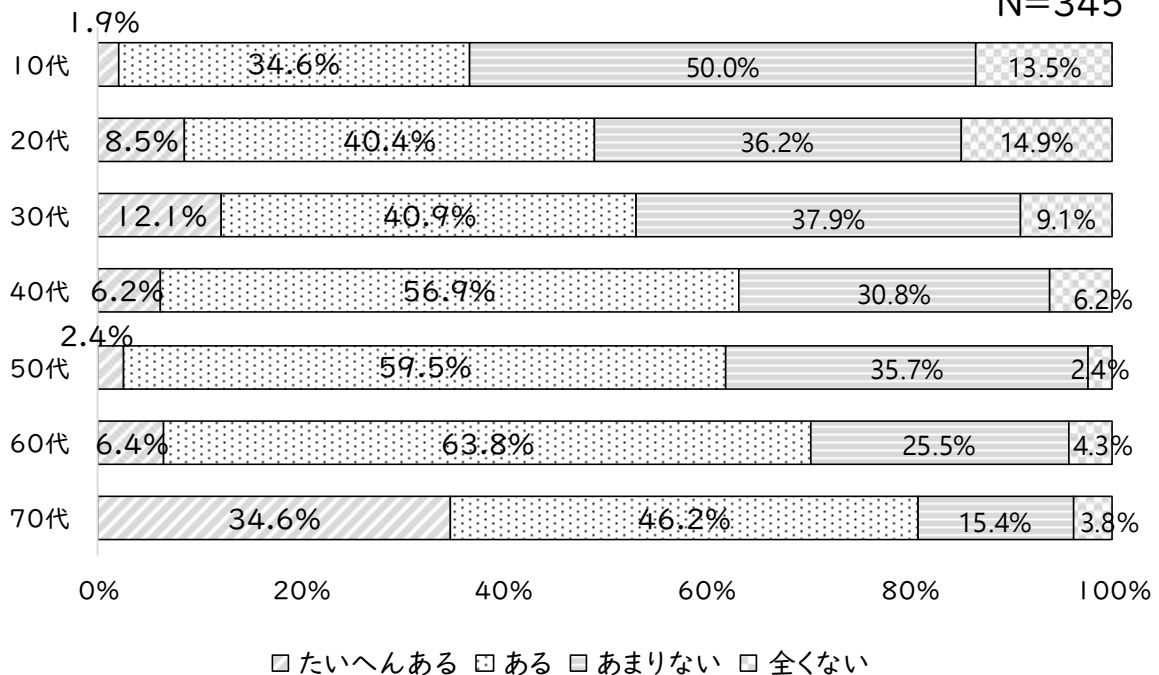
◆ 「文化や芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」がほぼ全ての世代で最も高くなっています。次いで「子どもたちに対する文化・芸術活動の支援」が高く、世代別では30代で一番高い結果となっています。

一方、60代以上では、機会の充実の次に「市内の活動や催しなどの情報提供」が高い結果となっています。

情報提供が一番高く、僅差で機会の充実という結果だった前回調査時に比し、将来の文化の担い手といえる子どもたちの活動に対する支援を求める方の割合が増えています。

問14-1 自分の住んでいる土地の歴史に関心がありますか？

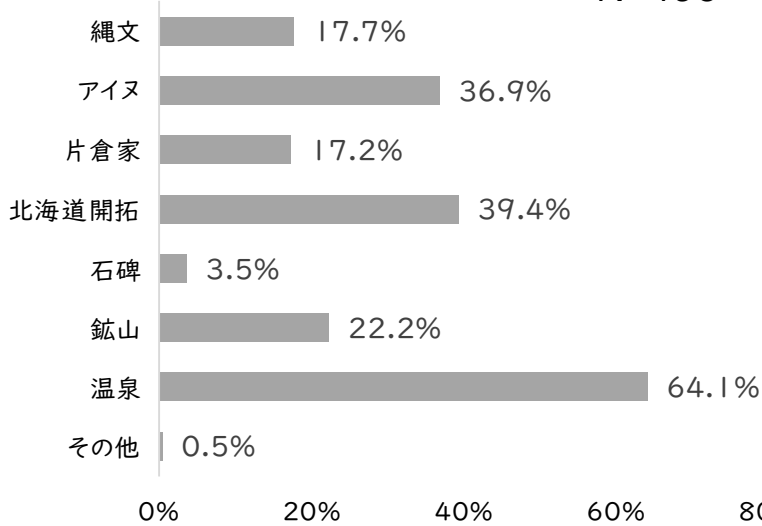
N=345



◆ 前回調査と同様、関心がある割合は70代の約80%を最大に、少し揺れもありますが世代が上がるにつれて高くなり、「関心がありません」、「全くない」と回答する割合は世代が下がるとともに増えていく傾向にあります。

問14-2 市内の歴史や文化財で関心のあるものはなんですか？
(複数回答)

N=198



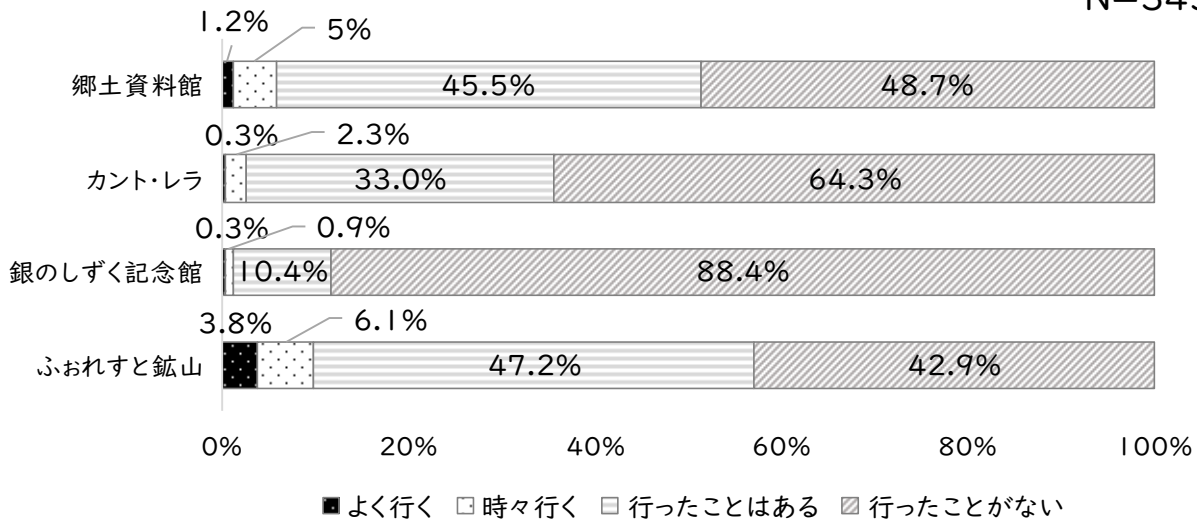
◆ 問14-1で歴史に関心が「たいへんある」「ある」と回答した方への問いです。

前回調査と同様に「温泉」が64.1%とも多く、次に「北海道開拓」、「アイヌ」となっています。

前回に比し、「北海道開拓」と「アイヌ」が僅差となっており、令和2年に白老町に民族共生象徴空間(ウポポイ)が開業、本市においてもアイヌ政策推進交付金を活用した事業が数多く実施されるなど、市民の関心が高まってきているといえます。

問15-1 市内の歴史を学ぶことのできる施設にどれくらい行きますか？

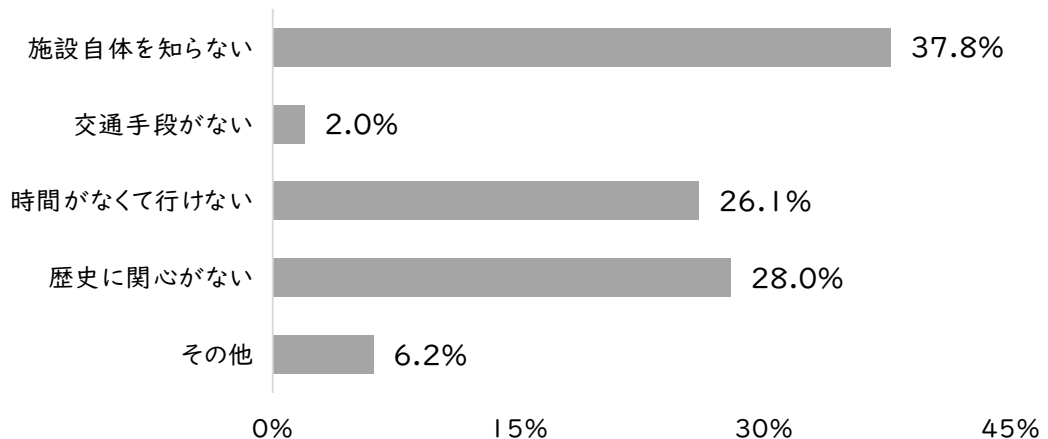
N=345



◆ 前回調査時に約70%だった「郷土資料館」へ一度でも行ったことのある割合は、約50%と減っています。一方、前回20%程度だった「カント・レラ」が約35%となり、開館して16年程がたち、市内学校の体験受入れなどの効果もあってか、微増しています。「銀のしずく記念館」は前回と大きく変わってはいません。要因として、開館年数の短さも少なからず影響しているとみられます。「ふおれすと鉱山」については、「よく行く」が他の施設と比べて最も高いことから、歴史を学ぶ目的ではなく、野外体験を主目的とした利用も含まれていると考えられます。

問15-2 行ったことがない理由を教えてください
(複数回答)

N=357



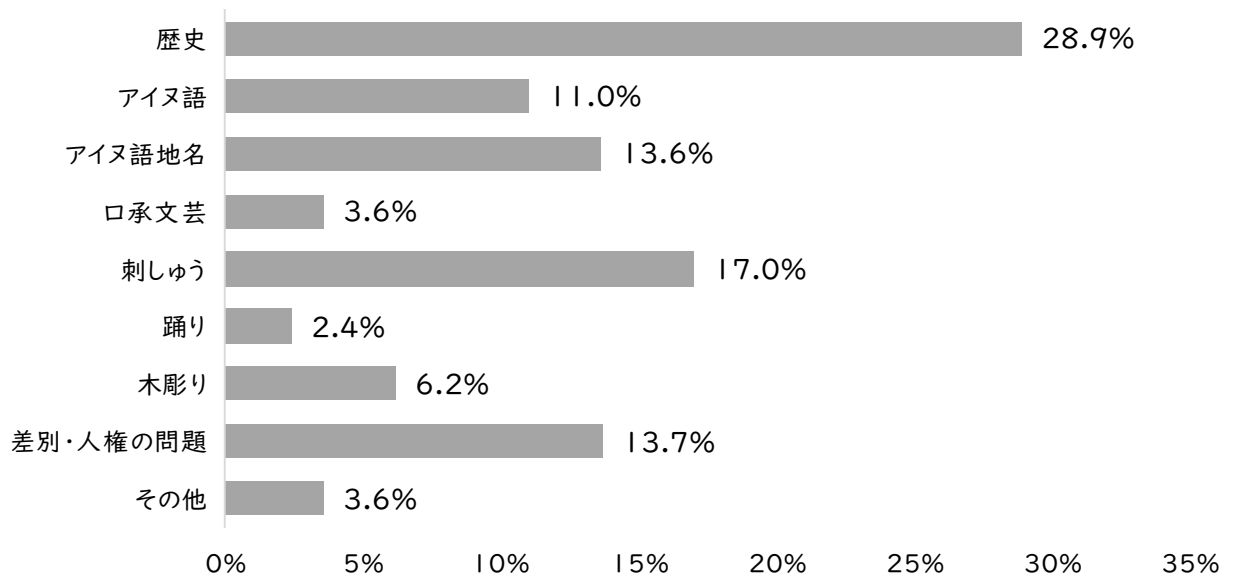
◆ 最も割合が高いのは「施設自体を知らない」の37.8%です。現在、全ての施設において、市広報紙、公共施設等へのポスターの掲示、ホームページ、SNS、新聞への掲載など、情報提供に努めていますが、発信側が思うようにうまく作用していないとも考えられます。

一方で、「歴史に関心がない」は前回調査に比べて増加しています。

問16 アイヌ文化のどの分野に関心がありますか？

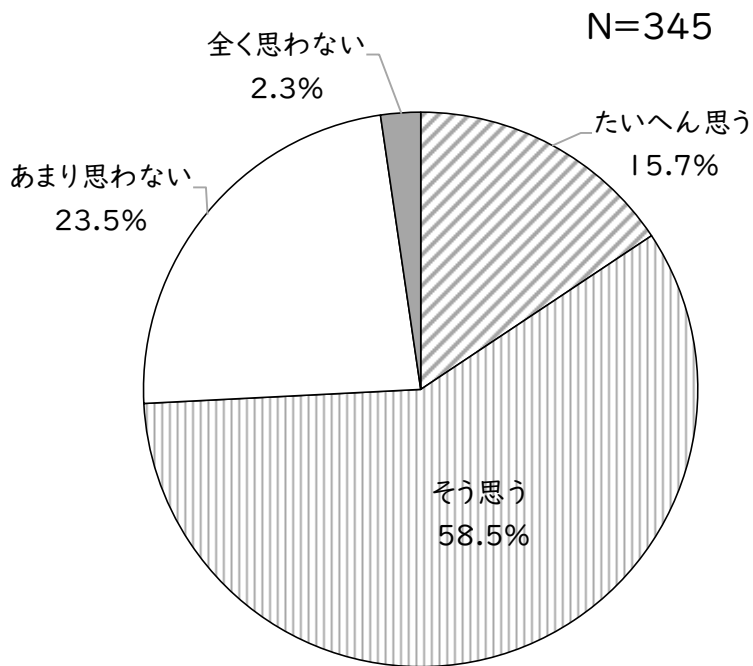
(複数回答)

N=582



◆ 「歴史」の割合が高く、次いで「刺しゅう」となっています。登別市内にも数多くある「アイヌ語地名」より僅差で「差別・人権の問題」が3番目に高い割合となっており、多くの人が文化だけでなく、現代的課題にも関心を持っていることがわかります。

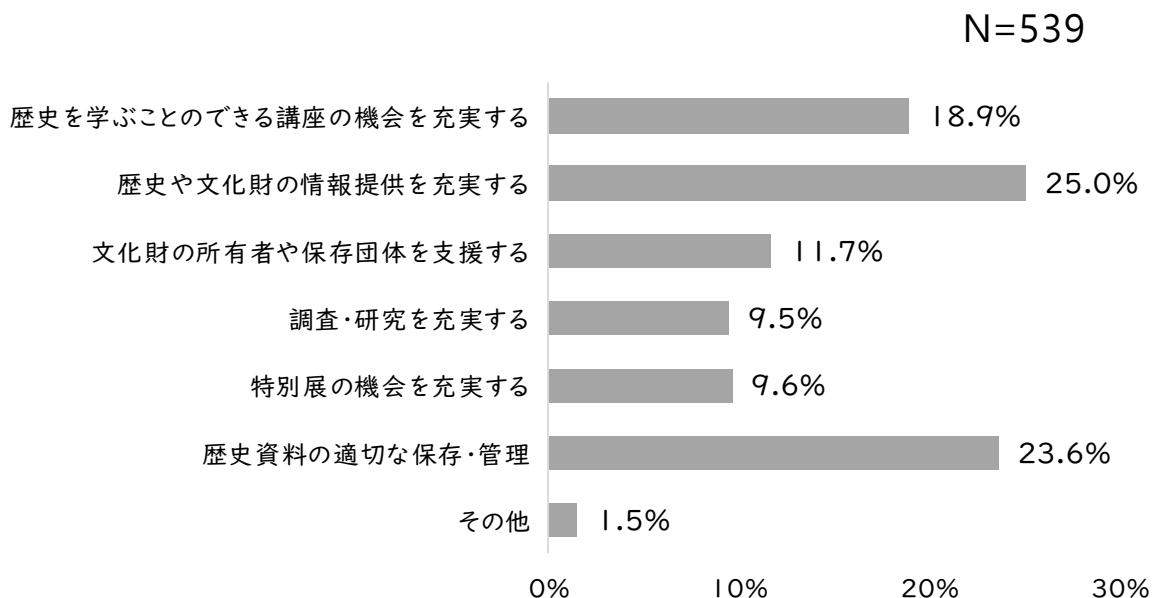
問17 私たちが生活していくうえで、自分の
住んでいる土地の歴史を知ることは必要な
ことだと思いますか？



◆ 「たいへん思う」「そう思う」
が74.2%を占めており、多く
の市民が、住んでいる土地
の歴史を知ることは必要だと
認識していることがわかります。

前回調査と同じく、世代別
で見ると「たいへん思う」「思
う」が最も低い20代でも約6
0%となっており、問14-1の
結果と合わせると「関心はな
いが必要なこと」だと思っ
ていることがわかります。

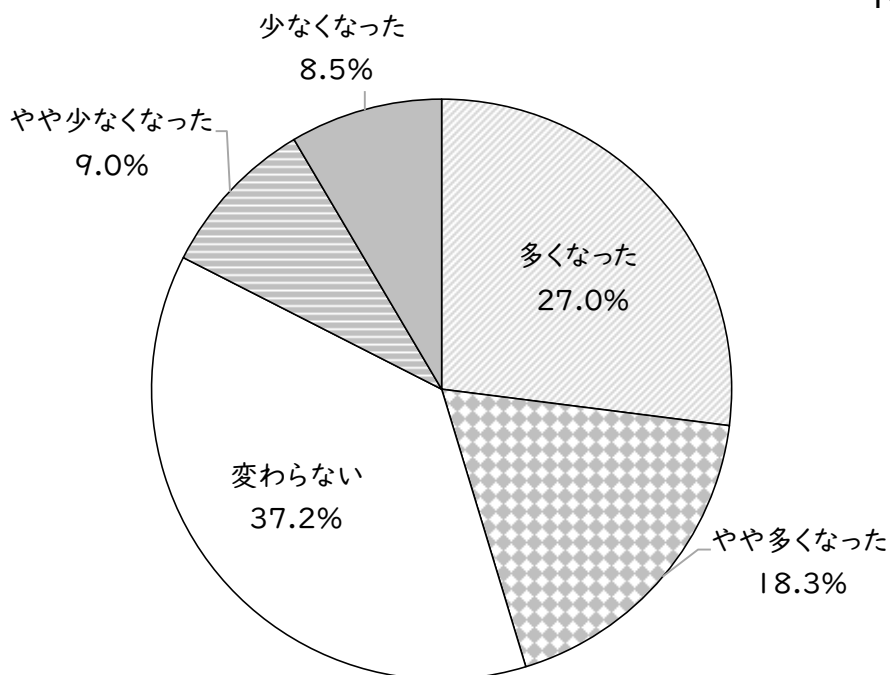
問18 登別市の歴史や文化財を未来に保存し、伝えていくため
行政に求めることはなんですか？(2つまで回答)



◆ 前回調査と同様に、「情報提供の充実」「資料の保存・管理」「講座機会の充実」の
順で回答が高くなっています。市民の目に触れることが少ない基礎作業である「調査・
研究の充実」は9.5%で、「その他」を除いて最も低い結果となっています。

問19 10年前より文化や歴史に触れる機会は多くなりましたか？

N=344



◆ この設問の「触れる機会」の多少は、実際に鑑賞や講演などの実施数が少なくなったと感じる周囲の環境、そして仕事や子育て、健康状態などの自身の環境という2つの要因による影響があると考えられます。

「変わらない」が37.2%と最も多く占めていますが、今回のアンケートからは周囲と自身どちらの環境がどの程度影響しているかまではわかりません。しかし、前回調査時から「多くなった」「やや多くなった」と回答した割合が、「少なくなった」「やや少なくなった」を上回りました。インターネットを活用するなど、自宅で気軽にできる活動も文化活動として認識されてきているのかもしれません。

問20 自由記載（文化関係のみ抜粋） ※一部、漢字に直すなどしています。

・広い視野や教養を身につける一助として、札幌市などの大都市の整った設備がある施設で行われる、プロによる文化公演や試合などを、少人数でも良いので子どもたちが直接見られる機会があったらよいと思う。（登別市の公共施設等の設備では開催が難しいものを特に見せたい。デンマークの派遣のようなイメージで、参加者には交通費も含め、ある程度の自費負担をさせる。）

・文化等スポーツ等参加のため外出しやすいよう、高齢者に「バス賃」の援助望みます。

※室蘭市参考に

・移住して3年半ですが、触れる機会がない。

・全国的に有名な歴史的展示物や絵画、音楽の鑑賞、スポーツ観戦が出来る機会をもっと増やして欲しいです。

・高齢化が進む中で、貴重である子供たちへの支援が大事だと思います。学力も運動神経もひとむかし前と比べると落ちている中で、子どもたちが活発に活動し、積極的に学び伝道していける施設や機会が必要だと思います。

・とにかく情報がない。登別市は何に力を入れようとしているのかまったく分からない。

・(※文化・スポーツ)どちらも、施設の整備と開催機会の充実や広報が大切だと考えます。

・登別市の LINE を私は活用しているので、そこで情報発信してはいかがでしょうか。

・鷺別公民館(※現鷺別コミュニティセンター)で行っている、文化展はたまに行くが地域に密着していて良いと感じる。小さいことではあるが公民館が近くにあることで文化や軽スポーツに触れる機会もあると感じる。

・文化活動もスポーツ活動も、一緒にできる人がいない。私のような、地元出身ではなく、仕事の都合で他の地域から来た人にとっては、文化活動やスポーツもそうだが、職場以外で地域や色々な人と交流することは全くない。活動普及もそうだが、他の地域から転入や移住した人に対して、交流できる機会や場所の提供を考えることも同時に求められると思う。

そうでないと、ただ仕事のために登別市に住んでいるだけになってしまう。実際、私は家は登別市だが、買い物は室蘭市になってしまう。(場所が室蘭との境目のため) 登別温泉とか観光客向けの市かと思ってしまうので、せっかくだが人々に対しての政策を求めるとともに、実際に行っているものがあるなら、そういうものの情報提供を積極的に公表していただきたい。

・今回の調査に、元々函館市民からの意見を申しますと、まだ整備できそうなところに力を入れても良いと思います。特に桜木町から川上公園までの道のりが歩道の整備がなく、車間が狭すぎて怖いです。幼稚園や小学校が遠足に使う分、しっかり整備していただきたいです。もっと需要を伸ばす取り組みがあると、もっと生活にプラスできそうな感じがします。私も文化・スポーツの充実に、できるだけの協力をしていきたいです。世の中の DX、メタバース空間をもっと活用していきたいですね。

現在、私が運営しているプログラミング教室も、メタバース空間を構築し、子どもたちと作品展示会を作っています。オリジナルのマップと子どもたちの発想で、非常にユニークな環境になっています。メタバースの浸透がだんだん広がっていけると期待しています。

今後文化の象徴空間としてメタバースを有効的に使いたいとき、コラボレーション等で行政と繋がれる関係になれば嬉しいです。長文になり申し訳ありませんが、今の素直な気持ちを述べさせていただきました。登別の未来に、可能性を信じています。

・文化と歴史については、市として注力する意義を問いたいです。そもそも市民は登別市の文化と歴史に関心があるのでしょうか？

スポーツに関しては、子供達の将来や健康促進に役立つと思うので、老若男女が使いやすい施設の充実を図ることで市民の満足を得られるのではないかと思います。

・施設のバリアフリー化を推進して欲しい。

・歴史の専門家の配置及び改善、健康促進のためのスポーツの活動推進。

■ アンケート数値一覧

n：設問に対する回答数（サンプル）

N：設問に対する回答者数（母集団）

調査対象者 1,981人（N）

回収数 単位：人 ※回収率17%（前回36%）

N
10代 52
20代 47
30代 66
40代 65
50代 42
60代 47
70代 26
全体 345

問1		文化に関心がありますか？					
	ある		ない		わからない		N
	n	%	n	%	n	%	
10代	18	34.6%	18	34.6%	16	30.8%	52
20代	19	40.4%	15	31.9%	13	27.7%	47
30代	31	47.0%	23	34.8%	12	18.2%	66
40代	34	52.3%	10	15.4%	21	32.3%	65
50代	25	59.5%	10	23.8%	7	16.7%	42
60代	31	66.0%	9	19.1%	7	14.9%	47
70代	20	76.9%	3	11.5%	3	11.5%	26
全体	178	51.6%	88	25.5%	79	22.9%	345

問2		文化活動をしていますか？			
	している		していない		N
	n	%	n	%	
10代	9	17.3%	43	82.7%	52
20代	14	29.8%	33	70.2%	47
30代	17	25.8%	49	74.2%	66
40代	17	26.2%	48	73.8%	65
50代	12	28.6%	30	71.4%	42
60代	12	25.5%	35	74.5%	47
70代	10	38.5%	16	61.5%	26
全体	91	26.4%	254	73.6%	345

問3		よくしている活動は何ですか？(複数回答) ※問2で「1 している」と回答した方のみ										
	文学		音楽		美術		演劇・舞踊		メディア芸術		伝統芸能	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	2	13.3%	5	33.3%	1	6.7%	1	6.7%	2	13.3%	0	0.0%
20代	3	10.0%	5	16.7%	4	13.3%	1	3.3%	9	30.0%	1	3.3%
30代	5	14.3%	6	17.1%	4	11.4%	2	5.7%	8	22.9%	0	0.0%
40代	2	4.7%	10	23.3%	9	20.9%	1	2.3%	8	18.6%	1	2.3%
50代	1	4.2%	5	20.8%	6	25.0%	2	8.3%	5	20.8%	0	0.0%
60代	1	3.6%	6	21.4%	7	25.0%	0	0.0%	3	10.7%	0	0.0%
70代	2	11.8%	2	11.8%	3	17.6%	1	5.9%	2	11.8%	2	11.8%
全体	16	8.3%	39	20.3%	34	17.7%	8	4.2%	37	19.3%	4	2.1%

	芸能		生活文化		国民娯楽		歴史・文化財		その他		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	2	13.3%	1	6.7%	1	6.7%	0	0.0%	15
20代	1	3.3%	3	10.0%	1	3.3%	2	6.7%	0	0.0%	30
30代	0	0.0%	7	20.0%	0	0.0%	3	8.6%	0	0.0%	35
40代	0	0.0%	8	18.6%	0	0.0%	3	7.0%	1	2.3%	43
50代	2	8.3%	3	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	24
60代	2	7.1%	3	10.7%	3	10.7%	3	10.7%	0	0.0%	28
70代	1	5.9%	3	17.6%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	17
全体	6	3.1%	29	15.1%	5	2.6%	13	6.8%	1	0.5%	192

	その他の記載内容
10代	—
20代	—
30代	—
40代	百人一首
50代	—
60代	—
70代	—

問4 どこで文化活動をしていますか？(複数回答) ※問2で「1 している」と回答した方のみ											
	市内の公共施設		市内の民間施設		自宅		市外		その他		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	2	20.0%	0	0.0%	4	40.0%	2	20.0%	2	20.0%	10
20代	0	0.0%	1	6.7%	9	60.0%	5	33.3%	0	0.0%	15
30代	2	9.5%	0	0.0%	11	52.4%	5	23.8%	3	14.3%	21
40代	3	13.0%	2	8.7%	10	43.5%	6	26.1%	2	8.7%	23
50代	3	25.0%	1	8.3%	2	16.7%	4	33.3%	2	16.7%	12
60代	3	15.8%	0	0.0%	10	52.6%	5	26.3%	1	5.3%	19
70代	4	36.4%	1	9.1%	1	9.1%	5	45.5%	0	0.0%	11
全体	17	15.3%	5	4.5%	47	42.4%	32	28.8%	10	9.0%	111

	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の内容	その他の記載内容
10代	ヌプル/明日中等教育学校	—	室蘭市/白老町	部活動2
20代	—	野本醇（※北の箱舟）美術館	室蘭市3/苫小牧市/札幌市	—
30代	市民会館/郷土資料館	—	白老町/札幌市2/苫小牧市/東京都/神奈川県	職場/鑑賞しかしていない
40代	市民会館2/富士会館/のぼりん/ふおれすと鉦山	クベル/アーニス/カルルス温泉/銀のしずく記念館	室蘭市3/伊達市/白老町/洞爺湖町/札幌市4	ネットの配信サービス
50代	市民会館3/しんた21/のぼりん	グッドタイム	室蘭市2/札幌市2/小樽市	映画館、ライブ会場など主に道内で/鑑賞するだけ
60代	市民会館2/ヌプル/驚別コミュニティセンター	—	室蘭市4/札幌市2/北海道内	自営している場所での活動
70代	市民会館/のぼりん2/ふおれすと鉦山	cossette coffee	室蘭市4	—

問5 文化活動に関するサークルや団体、教室等に入っていますか？ ※問2で「1 している」と回答した方のみ

	入っている		入っていない		N
	n	%	n	%	
10代	1	11.1%	8	88.9%	9
20代	3	21.4%	11	78.6%	14
30代	1	5.9%	16	94.1%	17
40代	2	11.8%	15	88.2%	17
50代	2	16.7%	10	83.3%	12
60代	2	16.7%	10	83.3%	12
70代	7	70.0%	3	30.0%	10
全体	18	19.8%	73	80.2%	91

問6 文化活動をしていないのはなぜですか？ ※問2で「2 していない」と回答した方のみ

	経済的に余裕がない		仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない		活動のできる場所や事業の情報が入手できない		活動するための施設がない		一緒に活動する仲間がいない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	3	7.0%	5	11.6%	4	9.3%	2	4.7%	6	14.0%
20代	2	6.1%	8	24.2%	7	21.2%	0	0.0%	3	9.1%
30代	1	2.0%	25	51.0%	1	2.0%	1	2.0%	4	8.2%
40代	4	8.3%	24	50.0%	4	8.3%	2	4.2%	4	8.3%
50代	3	10.0%	14	46.7%	1	3.3%	0	0.0%	2	6.7%
60代	4	11.4%	11	31.4%	6	17.1%	1	2.9%	3	8.6%
70代	2	12.5%	2	12.5%	4	25.0%	1	6.3%	4	25.0%
全体	19	7.5%	89	35.0%	27	10.6%	7	2.8%	26	10.2%

	指導者がいない		文化に関心がない		その他		N
	n	%	n	%	n	%	
10代	1	2.3%	21	48.8%	1	2.3%	43
20代	0	0.0%	12	36.4%	1	3.0%	33
30代	0	0.0%	17	34.7%	0	0.0%	49
40代	0	0.0%	9	18.8%	1	2.1%	48
50代	0	0.0%	9	30.0%	1	3.3%	30
60代	0	0.0%	8	22.9%	2	5.7%	35
70代	0	0.0%	3	18.8%	0	0.0%	16
全体	1	0.4%	79	31.1%	6	2.4%	254

	その他の記載内容
10代	特になし
20代	他に趣味が充実しており、該当の活動に割く時間がない
30代	—
40代	登別市民になって1ヶ月も経たずに、こんなアンケートが届くのが謎。
50代	週末は家族がいる場所へ帰省しているため時間がない。
60代	活動には興味がない/釣りキャップ（※キャンプの誤りか）いろいろしたいと思っている
70代	—

問6 参考 仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない

	「仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない」と回答した人の割合	N (回答した全世代の合計)
	n	%
10代	5	5.6%
20代	8	9.0%
30代	25	28.1%
40代	24	27.0%
50代	14	15.7%
60代	11	12.4%
70代	2	2.2%

89

問7		これから、または今後してみたいと思う活動はどれですか？(複数回答) ※鑑賞は含まない										
小説			随筆		詩		短歌		俳句		川柳	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	8	7.4%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	1	0.9%
20代	3	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30代	7	3.7%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
40代	2	1.3%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.3%
50代	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
60代	4	3.1%	1	0.8%	1	0.8%	1	0.8%	3	2.3%	0	0.0%
70代	2	3.6%	0	0.0%	1	1.8%	1	1.8%	1	1.8%	0	0.0%
全体	28	3.4%	3	0.4%	3	0.4%	2	0.2%	5	0.6%	4	0.5%
読み聞かせ			演奏(クラシック)		演奏(ポップス)		演奏(ジャズ)		合唱		民謡	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	1	0.9%	1	0.9%	3	2.8%	0	0.0%	3	2.8%	0	0.0%
20代	4	3.4%	7	6.0%	8	6.9%	6	5.2%	2	1.7%	0	0.0%
30代	5	2.6%	9	4.8%	7	3.7%	3	1.6%	4	2.1%	1	0.5%
40代	4	2.7%	6	4.0%	7	4.7%	7	4.7%	2	1.3%	0	0.0%
50代	0	0.0%	4	4.6%	2	2.3%	3	3.4%	3	3.4%	0	0.0%
60代	1	0.8%	7	5.5%	6	4.7%	4	3.1%	5	3.9%	0	0.0%
70代	1	1.8%	3	5.4%	2	3.6%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%
全体	16	1.9%	37	4.4%	35	4.2%	23	2.8%	20	2.4%	1	0.1%
絵画			陶芸		彫刻		工芸		写真		演劇	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	3	2.8%	2	1.9%	1	0.9%	2	1.9%	4	3.7%	3	2.8%
20代	5	4.3%	7	6.0%	1	0.9%	2	1.7%	10	8.6%	1	0.9%
30代	9	4.8%	10	5.3%	5	2.6%	5	2.6%	13	6.9%	4	2.1%
40代	8	5.3%	7	4.7%	6	4.0%	6	4.0%	12	8.0%	3	2.0%
50代	3	3.4%	8	9.2%	4	4.6%	5	5.7%	7	8.0%	1	1.1%
60代	8	6.3%	10	7.8%	5	3.9%	9	7.0%	5	3.9%	1	0.8%
70代	2	3.6%	4	7.1%	0	0.0%	1	1.8%	4	7.1%	2	3.6%
全体	38	4.6%	48	5.8%	22	2.6%	30	3.6%	55	6.6%	15	1.8%
ミュージカル			バレエ		ダンス		日本舞踊		映画		漫画	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	2	1.9%	2	1.9%	11	10.2%	0	0.0%	10	9.3%	7	6.5%
20代	2	1.7%	0	0.0%	3	2.6%	1	0.9%	7	6.0%	9	7.8%
30代	4	2.1%	4	2.1%	6	3.2%	3	1.6%	9	4.8%	11	5.8%
40代	3	2.0%	0	0.0%	5	3.3%	2	1.3%	6	4.0%	3	2.0%
50代	3	3.4%	0	0.0%	3	3.4%	1	1.1%	3	3.4%	3	3.4%
60代	0	0.0%	0	0.0%	2	1.6%	0	0.0%	7	5.5%	3	2.3%
70代	0	0.0%	0	0.0%	2	3.6%	0	0.0%	5	8.9%	0	0.0%
全体	14	1.7%	6	0.7%	32	3.8%	7	0.8%	47	5.6%	36	4.3%
アニメーション			民俗芸能		講談		落語		浪曲		漫談	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	7	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	7	6.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%
30代	6	3.2%	0	0.0%	1	0.5%	2	1.1%	0	0.0%	2	1.1%
40代	4	2.7%	3	2.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%
50代	3	3.4%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
60代	3	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
70代	0	0.0%	2	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	30	3.6%	6	0.7%	1	0.1%	4	0.5%	0	0.0%	4	0.5%
マジック			歌唱・歌唱		茶道		華道		囲碁		将棋	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	2	1.9%	2	1.9%	2	1.9%	1	0.9%	0	0.0%	2	1.9%
20代	3	2.6%	4	3.4%	0	0.0%	2	1.7%	1	0.9%	2	1.7%
30代	2	1.1%	5	2.6%	4	2.1%	6	3.2%	4	2.1%	4	2.1%
40代	2	1.3%	4	2.7%	3	2.0%	3	2.0%	0	0.0%	3	2.0%
50代	1	1.1%	1	1.1%	3	3.4%	2	2.3%	0	0.0%	2	2.3%
60代	1	0.8%	2	1.6%	0	0.0%	2	1.6%	2	1.6%	6	4.7%
70代	0	0.0%	4	7.1%	0	0.0%	2	3.6%	2	3.6%	2	3.6%
全体	11	1.3%	22	2.6%	12	1.4%	18	2.2%	9	1.1%	21	2.5%
歴史・文化財			その他		ない		N					
	n	%	n	%	n	%						
10代	3	2.8%	1	4.5%	22	20.4%	108					
20代	3	2.6%	1	7.1%	14	12.1%	116					
30代	10	5.3%	1	4.8%	21	11.1%	189					
40代	11	7.3%	3	15.0%	20	13.3%	150					
50代	6	6.9%	2	20.0%	10	11.5%	87					
60代	6	4.7%	7	43.8%	16	12.5%	128					
70代	4	7.1%	3	60.0%	5	8.9%	56					
全体	43	5.2%	18	2.2%	108	12.9%	834					
										その他の記載		
10代										書道		
20代										書道		
30代										天体活動		
40代										書道2/選択肢が該当しない		
50代										書道2		
60代										書道(習字)4/手芸3/バードウォッチング		
70代										書道/刀剣に関する講演や展示/見聞きすることは好き		

問8 この1年間で鑑賞したものはどれですか？(複数回答)

	クラシック		ジャズ		ポップス		民族音楽		絵画		陶芸	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	2	1.9%	1	1.0%	4	3.8%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%
20代	3	2.8%	2	1.4%	5	4.7%	1	0.9%	5	4.7%	0	0.0%
30代	5	3.5%	3	1.2%	5	3.5%	1	0.7%	7	4.9%	1	0.7%
40代	6	3.7%	5	0.7%	11	6.8%	3	1.9%	9	5.6%	1	0.6%
50代	5	5.4%	1	5.4%	6	6.5%	2	2.2%	4	4.3%	1	1.1%
60代	4	4.4%	2	2.2%	1	1.1%	0	0.0%	8	8.9%	0	0.0%
70代	3	6.4%	1	6.4%	1	2.1%	1	2.1%	4	8.5%	1	2.1%
全体	28	3.8%	15	2.0%	33	4.4%	8	1.1%	38	5.1%	4	0.5%

	彫刻		写真		演劇		ミュージカル		バレエ		ダンス	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	0	0.0%	4	3.8%	3	2.9%	2	1.9%	0	0.0%	9	8.6%
20代	0	0.0%	5	4.7%	4	3.8%	1	0.9%	0	0.0%	4	3.8%
30代	2	1.4%	4	2.8%	4	2.8%	3	2.1%	2	1.4%	1	0.7%
40代	3	1.9%	9	5.6%	2	1.2%	3	1.9%	2	1.2%	3	1.9%
50代	0	0.0%	3	3.3%	2	2.2%	4	4.3%	2	2.2%	1	1.1%
60代	3	3.3%	5	5.6%	2	2.2%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
70代	0	0.0%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	1	2.1%
全体	8	1.1%	32	4.3%	17	2.3%	15	2.0%	7	0.9%	19	2.5%

	日本舞踊		映画		漫画		アニメーション		歌舞伎		能楽・狂言	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	0	0.0%	24	22.9%	14	13.3%	12	11.4%	0	0.0%	0	0.0%
20代	1	0.9%	16	15.1%	15	14.2%	16	15.1%	0	0.0%	0	0.0%
30代	1	0.7%	26	18.1%	19	13.2%	18	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
40代	0	0.0%	25	15.4%	16	9.9%	14	8.6%	1	0.6%	1	0.6%
50代	0	0.0%	17	18.5%	6	6.5%	8	8.7%	1	1.1%	1	1.1%
60代	0	0.0%	13	14.4%	4	4.4%	3	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
70代	0	0.0%	5	10.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	2	0.3%	126	16.9%	74	9.9%	71	9.5%	2	0.3%	2	0.3%

	雅楽		文楽		民俗芸能		講談		落語		漫談・漫才	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	0	0.0%	0	0.0%	3	2.9%	0	0.0%	3	2.9%	1	1.0%
20代	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%	1	0.9%	1	0.9%	3	2.8%
30代	0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%	1	0.7%	1	0.7%	4	2.8%
40代	1	0.6%	1	0.6%	4	2.5%	1	0.6%	1	0.6%	1	0.6%
50代	0	0.0%	0	0.0%	3	3.3%	0	0.0%	3	3.3%	1	1.1%
60代	0	0.0%	1	1.1%	3	3.3%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%
70代	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
全体	1	0.1%	2	0.3%	19	2.5%	4	0.5%	10	1.3%	11	1.5%

	歌謡・歌唱		マジック・サーカス		花		書		園芸		講演会	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	1	1.0%	0	0.0%	1	1.0%	4	3.8%	1	1.0%	1	1.0%
20代	1	0.9%	1	0.9%	0	0.0%	2	1.9%	1	0.9%	0	0.0%
30代	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%	2	1.4%	4	2.8%	2	1.4%
40代	4	2.5%	1	0.6%	2	1.2%	3	1.9%	3	1.9%	3	1.9%
50代	3	3.3%	1	1.1%	1	1.1%	2	2.2%	3	3.3%	1	1.1%
60代	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	7	7.8%
70代	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	2	4.3%	1	2.1%	3	6.4%
全体	11	1.5%	5	0.7%	6	0.8%	16	2.1%	14	1.9%	17	2.3%

	その他		していない		N
	n	%	n	%	
10代	1	1.0%	13	12.4%	105
20代	1	0.9%	15	14.2%	106
30代	0	0.0%	23	16.0%	144
40代	0	0.0%	23	14.2%	162
50代	1	1.1%	9	9.8%	92
60代	4	4.4%	22	24.4%	90
70代	2	4.3%	15	31.9%	47
全体	9	1.2%	120	16.1%	746

＊	鑑賞した		鑑賞していない		N
	n	%	n	%	
10代	39	75.0%	13	25.0%	52
20代	32	68.1%	15	31.9%	47
30代	43	65.2%	23	34.8%	66
40代	42	64.6%	23	35.4%	65
50代	33	78.6%	9	21.4%	42
60代	25	53.2%	22	46.8%	47
70代	11	42.3%	15	57.7%	26
全体	225	65.2%	120	34.8%	345

※回答者から鑑賞していない方を差し引いた人数

	その他の記載内容
10代	モノマネライブ
20代	小説
30代	-
40代	-
50代	モノマネライブ
60代	法隆寺展/合唱/朗読会/演奏会
70代	絵手紙/民族衣装作品鑑賞

問9 鑑賞していないのはなぜですか？ ※問8で「鑑賞していない」と回答した方への質問

	経済的に余裕がない		仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない		鑑賞事業の情報が入手できない		興味のある鑑賞事業が開催されていない		一緒に鑑賞する仲間がいない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	2	15.4%	5	38.5%	4	30.8%	1	7.7%	0	0.0%
20代	0	0.0%	5	33.3%	3	20.0%	2	13.3%	0	0.0%
30代	2	8.7%	11	47.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	13.0%
40代	1	4.2%	13	54.2%	2	8.3%	2	8.3%	1	4.2%
50代	2	22.2%	3	33.3%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%
60代	3	14.3%	7	33.3%	2	9.5%	5	23.8%	0	0.0%
70代	1	6.7%	2	13.3%	5	33.3%	2	13.3%	2	13.3%
全体	11	9.2%	46	38.4%	16	13.3%	13	10.8%	6	5.0%

	文化に関心がない		その他		N
	n	%	n	%	
10代	1	7.7%	0	0.0%	13
20代	5	33.3%	0	0.0%	15
30代	7	30.4%	0	0.0%	23
40代	4	16.7%	1	4.2%	24
50代	2	22.2%	1	11.1%	9
60代	3	14.3%	1	4.8%	21
70代	2	13.3%	1	6.7%	15
全体	24	20.0%	4	3.3%	120

	その他の記載内容
40代	選択肢が該当しない
50代	他に趣味がある
60代	疲れているため
70代	一年間と言う限定的には無いと言う事で、それ以前にはあると言う事です

問10-1 どの地域で鑑賞しましたか？(複数回答) ※問8で鑑賞していた方への質問

	登別市内		室蘭市		伊達市		札幌市		その他		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	18	36.0%	19	38.0%	1	2.0%	6	12.0%	6	12.0%	50
20代	16	37.2%	7	16.3%	0	0.0%	15	34.9%	5	11.6%	43
30代	22	36.1%	12	19.7%	1	1.6%	12	19.7%	14	23.0%	61
40代	15	23.4%	22	34.4%	1	1.6%	16	25.0%	10	15.6%	64
50代	16	31.4%	12	23.5%	3	5.9%	12	23.5%	8	15.7%	51
60代	16	38.1%	12	28.6%	3	7.1%	10	23.8%	1	2.4%	42
70代	5	25.0%	9	45.0%	0	0.0%	6	30.0%	0	0.0%	20
全体	108	32.6%	93	28.1%	9	2.7%	77	23.3%	44	13.3%	331

	その他の記載内容
10代	苫小牧市3/白老町/池田町/YouTube
20代	白老町/苫小牧市3/東京都
30代	白老町/苫小牧市3/石狩市/岩見沢市/函館市/根室市/東京都2/愛知県2/大坂市/市外(※不明)
40代	白老町2/苫小牧市4/函館市/東京都/神奈川県/YouTube/SNSサイト
50代	白老町2/苫小牧市2/富良野市/歌舞伎座(東京都か?)/場所不明(自衛隊定期演奏会、劇団、陶磁器展)
60代	島根県(出雲大社)
70代	—

問10-2 市外で鑑賞したのはなぜですか？ ※問10-1で市外で鑑賞していると答えた方への質問

	興味のある公演や 展示会が開催 されている		一緒に鑑賞する 仲間がいる		家族や知人が 出展している		その他		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	12	42.9%	6	21.4%	3	10.7%	7	25.0%	28
20代	13	59.1%	3	13.6%	2	9.1%	4	18.2%	22
30代	19	70.4%	0	0.0%	2	7.4%	6	22.2%	27
40代	22	62.9%	3	8.6%	5	14.3%	5	14.3%	35
50代	18	66.7%	1	3.7%	2	7.4%	6	22.2%	27
60代	14	77.8%	0	0.0%	2	11.1%	2	11.1%	18
70代	7	70.0%	0	0.0%	2	20.0%	1	10.0%	10
全体	105	62.9%	13	7.8%	18	10.8%	31	18.5%	167

	その他の記載内容
10代	たまたま開催されていて寄って見た/学校の行事(総合探究)/そこ周辺に住んでいたから(池田町と回答)/見たい映画が一番近くて苫小牧しか、上演していなかったから/登別には映画館がないから/登別には施設がない(映画を鑑賞したと回答)/学校
20代	登別市内に映画鑑賞できる施設がないため(室蘭市・札幌市で鑑賞と回答)/登別市内に鑑賞できる施設がない(札幌市と回答/映画を鑑賞したと回答)見たい映画が苫小牧でしか公開されていないから/苫小牧に居住したため
30代	室蘭の映画館が小さい、同じ金額を払うならデカいスクリーンがある映画館で鑑賞したい(苫小牧市で鑑賞と回答)/そこにいたから(函館市で鑑賞と回答)/住んでいたので(大坂市で鑑賞と回答)/登別へ引越してきたばかりだから(愛知県で鑑賞と回答)2/たまたま目にした(市外(詳細不明)で鑑賞したと回答)
40代	SNSサイト/映画館が市内にないから(室蘭市で鑑賞と回答)/登別にはないから(クラシック・映画・アニメを札幌市・苫小牧市で鑑賞したと回答)/行った先の施設にたまたま飾ってあった写真を鑑賞(室蘭市)/鑑賞したいイベントがない。または周知されていても気づかない(YouTube)
50代	行ってみたかったから(白老町ウボイと回答)/市内に映画館がないから(室蘭市)3/登別市内にない(苫小牧市・札幌市で鑑賞と回答)/出先で資料館などが近くにあったので行ってみた(札幌市で鑑賞と回答)
60代	登別市内に映画館がないから(室蘭市)/仕事の関係(室蘭市)
70代	出掛けたついでに(札幌市)

問11 今後、鑑賞したいと思うものはどれですか？(複数回答)																	
クラシック			ジャズ			ポップス			民族音楽			絵画			陶芸		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	3	2.5%	1	0.8%	6	5.0%	0	0.0%	7	5.8%	1	0.8%					
20代	11	6.8%	8	5.0%	10	6.2%	2	1.2%	8	5.0%	1	0.6%					
30代	22	9.0%	13	5.3%	8	3.3%	4	1.6%	12	4.9%	2	0.8%					
40代	14	5.3%	12	4.6%	22	8.4%	5	1.9%	15	5.7%	5	1.9%					
50代	10	7.2%	3	2.2%	6	4.3%	1	0.7%	3	2.2%	4	2.9%					
60代	13	9.2%	9	6.3%	11	7.7%	2	1.4%	8	5.6%	3	2.1%					
70代	6	7.3%	3	3.7%	5	6.1%	1	1.2%	5	6.1%	4	4.9%					
全体	79	6.9%	49	4.3%	68	5.9%	15	1.3%	58	5.0%	20	1.7%					
彫刻			写真			演劇			ミュージカル			バレエ			ダンス		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	1	0.8%	7	5.8%	3	2.5%	6	5.0%	1	0.8%	12	9.9%					
20代	0	0.0%	6	3.7%	4	2.5%	13	8.1%	2	1.2%	7	4.3%					
30代	6	2.4%	10	4.1%	11	4.5%	18	7.3%	6	2.4%	6	2.4%					
40代	5	1.9%	17	6.5%	9	3.4%	16	6.1%	2	0.8%	8	3.1%					
50代	1	0.7%	4	2.9%	6	4.3%	14	10.1%	2	1.4%	2	1.4%					
60代	4	2.8%	4	2.8%	9	6.3%	9	6.3%	2	1.4%	1	0.7%					
70代	4	4.9%	5	6.1%	2	2.4%	4	4.9%	0	0.0%	1	1.2%					
全体	21	1.8%	53	4.6%	44	3.8%	80	6.9%	15	1.3%	37	3.2%					
日本舞踊			映画			漫画			アニメーション			歌舞伎			能楽・狂言		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	19	15.7%	14	11.6%	16	13.2%	1	0.8%	0	0.0%					
20代	1	0.6%	19	11.8%	9	5.6%	16	9.9%	4	2.5%	3	1.9%					
30代	2	0.8%	23	9.4%	16	6.5%	20	8.2%	5	2.0%	2	0.8%					
40代	1	0.4%	31	11.8%	14	5.3%	14	5.3%	9	3.4%	7	2.7%					
50代	0	0.0%	19	13.7%	5	3.6%	10	7.2%	5	3.6%	1	0.7%					
60代	0	0.0%	16	11.3%	3	2.1%	2	1.4%	3	2.1%	2	1.4%					
70代	0	0.0%	7	8.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.4%	0	0.0%					
全体	4	0.3%	134	11.6%	61	5.3%	78	6.8%	29	2.5%	15	1.3%					
雅楽			文楽			民俗芸能			講談			落語			漫談・漫才		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%					
20代	1	0.6%	1	0.6%	3	1.9%	2	1.2%	3	1.9%	9	5.6%					
30代	2	0.8%	0	0.0%	2	0.8%	2	0.8%	4	1.6%	12	4.9%					
40代	4	1.5%	2	0.8%	3	1.1%	1	0.4%	2	0.8%	8	3.1%					
50代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	5	3.6%	10	7.2%					
60代	0	0.0%	1	0.7%	1	0.7%	1	0.7%	5	3.5%	6	4.2%					
70代	1	1.2%	1	1.2%	1	1.2%	1	1.2%	3	3.7%	1	1.2%					
全体	8	0.7%	5	0.4%	10	0.9%	9	0.8%	22	1.9%	48	4.2%					
歌謡・歌唱			マジック・サーカス			花			書			園芸			講演会		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	4	3.3%	7	5.8%	3	2.5%	3	2.5%	1	0.8%	2	1.7%					
20代	2	1.2%	5	3.1%	3	1.9%	3	1.9%	1	0.6%	2	1.2%					
30代	5	2.0%	11	4.5%	5	2.0%	3	1.2%	7	2.9%	5	2.0%					
40代	7	2.7%	8	3.1%	3	1.1%	6	2.3%	3	1.1%	8	3.1%					
50代	2	1.4%	6	4.3%	2	1.4%	7	5.0%	5	3.6%	4	2.9%					
60代	5	3.5%	4	2.8%	0	0.0%	2	1.4%	5	3.5%	7	4.9%					
70代	4	4.9%	3	3.7%	2	2.4%	5	6.1%	4	4.9%	5	6.1%					
全体	29	2.5%	44	3.8%	18	1.6%	29	2.5%	26	2.3%	33	2.9%					
その他			N			無回答			その他の記載内容								
	n	%	N														
10代	1	0.8%	121	10代	0	10代	特に無い										
20代	2	1.2%	161	20代	0	20代	ない/特にない										
30代	1	0.4%	245	30代	0	30代	とくになし										
40代	1	0.4%	262	40代	0	40代	特にない										
50代	0	0.0%	139	50代	0	50代	ー										
60代	4	2.8%	142	60代	0	60代	手芸/鑑賞したいと思わない/今はまだその気にならない/観たいモノがあったら観ます/										
70代	2	2.4%	82	70代	1	70代	工芸作品展/ない										
全体	11	1.0%	1152	全体	1												

問12 文化活動は人が豊かな生活を送るために必要だと思いますか？								
	とても思う		そう思う		あまり思わない		全く思わない	
	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	12	23.1%	28	53.8%	12	23.1%	0	0.0%
20代	18	38.3%	19	40.4%	10	21.3%	0	0.0%
30代	21	31.8%	37	56.1%	7	10.6%	1	1.5%
40代	17	26.2%	41	63.1%	7	10.8%	0	0.0%
50代	12	28.6%	23	54.8%	7	16.7%	0	0.0%
60代	7	14.9%	31	66.0%	9	19.1%	0	0.0%
70代	4	15.4%	18	69.2%	4	15.4%	0	0.0%
全体	91	26.4%	197	57.1%	56	16.2%	1	0.3%

問13 登別市の文化振興のため行政に求めることはなんですか？(2つまで回答)										
	文化や芸術を鑑賞・体験できる機会の充実		市内の活動や催しなどの情報提供		子供達に対する文化・芸術活動の支援		バリアフリーなど施設の整備		さまざまな文化講座等の充実	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	23	29.5%	16	20.5%	20	25.6%	6	7.7%	5	6.4%
20代	26	35.1%	15	20.3%	18	24.3%	4	5.4%	4	5.4%
30代	34	32.4%	24	22.9%	36	34.3%	3	2.9%	5	4.8%
40代	49	44.5%	21	19.1%	24	21.8%	3	2.7%	7	6.4%
50代	26	39.4%	12	18.2%	16	24.2%	5	7.6%	5	7.6%
60代	32	40.0%	20	25.0%	11	13.8%	4	5.0%	7	8.8%
70代	11	27.5%	12	30.0%	5	12.5%	3	7.5%	5	12.5%
全体	201	36.3%	120	21.7%	130	23.5%	28	5.1%	38	6.9%

	文化団体に対する助成や支援		N
	n	%	
10代	8	10.3%	78
20代	7	9.5%	74
30代	3	2.9%	105
40代	6	5.5%	110
50代	2	3.0%	66
60代	6	7.5%	80
70代	4	10.0%	40
全体	36	6.5%	553

	無回答
10代	0
20代	0
30代	0
40代	0
50代	0
60代	0
70代	1
全体	1

問14-1 自分の住んでいる土地の歴史に関心がありますか？								
	たいへんある		ある		あまりない		全くない	
	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	1	1.9%	18	34.6%	26	50.0%	7	13.5%
20代	4	8.5%	19	40.4%	17	36.2%	7	14.9%
30代	8	12.1%	27	40.9%	25	37.9%	6	9.1%
40代	4	6.2%	37	56.9%	20	30.8%	4	6.2%
50代	1	2.4%	25	59.5%	15	35.7%	1	2.4%
60代	3	6.4%	30	63.8%	12	25.5%	2	4.3%
70代	9	34.6%	12	46.2%	4	15.4%	1	3.8%
全体	30	8.7%	168	48.7%	119	34.5%	28	8.1%

問14-2 市内の歴史や文化財で関心のあるものはなんですか？(複数回答) ※問14-1で「1 たいへんある」「2 ある」と回答した方のみ										
	縄文		アイヌ		片倉家		北海道開拓		石碑	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	2	10.5%	9	47.4%	0	0.0%	4	21.1%	1	5.3%
20代	2	8.7%	12	52.2%	5	21.7%	5	21.7%	0	0.0%
30代	9	25.7%	13	37.1%	8	22.9%	15	42.9%	1	2.9%
40代	7	17.1%	14	34.1%	6	14.6%	13	31.7%	3	7.3%
50代	7	26.9%	9	34.6%	5	19.2%	12	46.2%	1	3.8%
60代	8	24.2%	13	39.4%	7	21.2%	18	54.5%	1	3.0%
70代	0	0.0%	3	14.3%	3	14.3%	11	52.4%	0	0.0%
全体	35	17.7%	73	36.9%	34	17.2%	78	39.4%	7	3.5%

	温泉		その他		N
	n	%	n	%	
10代	15	78.9%	0	0.0%	19
20代	18	78.3%	1	4.3%	23
30代	18	51.4%	0	0.0%	35
40代	33	80.5%	0	0.0%	41
50代	18	69.2%	0	0.0%	26
60代	18	54.5%	0	0.0%	33
70代	7	33.3%	0	0.0%	21
全体	127	64.1%	1	0.5%	198

	その他の記載内容
10代	—
20代	食べ物
30代	—
40代	—
50代	—
60代	—
70代	—

問15-1 市内の歴史を学ぶことのできる施設にどれくらい行きますか？

郷土資料館

	よく行く		時々行く		行ったことはある		行ったことがない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	2	4%	37	71.2%	13	25.0%	52
20代	0	0.0%	1	2%	13	27.7%	33	70.2%	47
30代	2	3.0%	1	2%	27	40.9%	36	54.5%	66
40代	0	0.0%	3	5%	26	40.0%	36	55.4%	65
50代	1	2.4%	1	2%	23	54.8%	17	40.5%	42
60代	1	2.1%	5	11%	21	44.7%	20	42.6%	47
70代	0	0.0%	3	12%	10	38.5%	13	50.0%	26
全体	4	1.2%	16	5%	157	45.5%	168	48.7%	345

カント・レラ

	よく行く		時々行く		行ったことはある		行ったことがない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	0	0.0%	30	57.7%	22	42.3%	52
20代	0	0.0%	1	2.1%	4	8.5%	42	89.4%	47
30代	1	1.5%	1	1.5%	22	33.3%	42	63.6%	66
40代	0	0.0%	2	3.1%	19	29.2%	44	67.7%	65
50代	0	0.0%	3	7.1%	17	40.5%	22	52.4%	42
60代	0	0.0%	0	0.0%	18	38.3%	29	61.7%	47
70代	0	0.0%	1	3.8%	4	15.4%	21	80.8%	26
全体	1	0.3%	8	2.3%	114	33.0%	222	64.3%	345

銀のしずく記念館

	よく行く		時々行く		行ったことはある		行ったことがない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	0	0.0%	7	13.5%	45	86.5%	52
20代	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	45	95.7%	47
30代	0	0.0%	1	1.5%	7	10.6%	58	87.9%	66
40代	0	0.0%	0	0.0%	8	12.3%	57	87.7%	65
50代	0	0.0%	0	0.0%	7	16.7%	35	83.3%	42
60代	0	0.0%	2	4.3%	4	8.5%	41	87.2%	47
70代	1	3.8%	0	0.0%	1	3.8%	24	92.3%	26
全体	1	0.3%	3	0.9%	36	10.4%	305	88.4%	345

ふおれすと鉱山

	よく行く		時々行く		行ったことはある		行ったことがない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	4	7.7%	40	76.9%	8	15.4%	52
20代	1	2.1%	0	0.0%	18	38.3%	28	59.6%	47
30代	4	6.1%	4	6.1%	31	47.0%	27	40.9%	66
40代	6	9.2%	8	12.3%	26	40.0%	25	38.5%	65
50代	0	0.0%	3	7.1%	24	57.1%	15	35.7%	42
60代	1	2.1%	2	4.3%	15	31.9%	29	61.7%	47
70代	1	3.8%	0	0.0%	9	34.6%	16	61.5%	26
全体	13	3.8%	21	6.1%	163	47.2%	148	42.9%	345

問15-2 行ったことがない理由を教えてください(複数回答)

※問15-1で「4 行ったことがない」施設があった方のみ回答

	施設自体を知らない		交通手段がない		時間がなくて行けない		歴史に関心がない		その他		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	25	45.5%	2	3.6%	14	25.5%	11	20.0%	3	5.5%	55
20代	22	42.3%	2	3.8%	12	23.1%	14	26.9%	2	3.8%	52
30代	26	38.8%	0	0.0%	17	25.4%	23	34.3%	1	1.5%	67
40代	24	36.9%	0	0.0%	21	32.3%	18	27.7%	2	3.1%	65
50代	13	32.5%	0	0.0%	11	27.5%	11	27.5%	5	12.5%	40
60代	13	25.5%	1	2.0%	13	25.5%	18	35.3%	6	11.8%	51
70代	12	44.4%	2	7.4%	5	18.5%	5	18.5%	3	11.1%	27
全体	135	37.8%	7	2.0%	93	26.1%	100	28.0%	22	6.2%	357

	その他の記載内容
10代	行く機会がない3
20代	行く機会がない/札幌等の大きい施設へ行った方が見応えがある
30代	まだ引越してきたばかりなので
40代	今後、興味がある展示のテーマがあれば行きたいと思います/選択肢が該当しない
50代	行こうと思っているが行けてない2/そこに行く魅力を感じない/休館日が自分の休みと一緒の為/特に理由は無い
50代	興味が無い人も目を止めるような企画
60代	住んでいる場所から離れたところにあたり、施設の情報が少なく、他施設よりも行くのにハードルが高い、入りにくい感じがする/行ってみたが、
70代	そのうち行こうと思っているが優先順が低い/歴史に関心がない/展示内容が不明 テーマを知らない施設がある

問16 アイヌ文化のどの分野に関心がありますか？(複数回答)												
	歴史		アイヌ語		アイヌ語地名		口承文芸		刺しゅう		踊り	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	26	33.3%	14	17.9%	10	12.8%	1	1.3%	8	10.3%	3	3.8%
20代	26	31.7%	12	14.6%	12	14.6%	2	2.4%	11	13.4%	2	2.4%
30代	26	21.5%	16	13.2%	14	11.6%	5	4.1%	26	21.5%	3	2.5%
40代	33	28.9%	10	8.8%	11	9.6%	1	0.9%	24	21.1%	4	3.5%
50代	16	25.4%	4	6.3%	11	17.5%	4	6.3%	14	22.2%	1	1.6%
60代	28	33.3%	8	9.5%	10	11.9%	7	8.3%	10	11.9%	0	0.0%
70代	13	32.5%	0	0.0%	11	27.5%	1	2.5%	6	15.0%	1	2.5%
全体	168	28.9%	64	11.0%	79	13.6%	21	3.6%	99	17.0%	14	2.4%

	木彫り		差別・人権の問題		その他		N
	n	%	n	%	n	%	
10代	6	7.7%	9	11.5%	1	1.3%	78
20代	4	4.9%	10	12.2%	3	3.7%	82
30代	5	4.1%	19	15.7%	7	5.8%	121
40代	10	8.8%	16	14.0%	5	4.4%	114
50代	3	4.8%	8	12.7%	2	3.2%	63
60代	6	7.1%	12	14.3%	3	3.6%	84
70代	2	5.0%	6	15.0%	0	0.0%	40
全体	36	6.2%	80	13.7%	21	3.6%	582

	その他の記載内容
10代	ない
20代	当時の食について/興味がない2
30代	文化そのもの。暮らしの仕方。何を大切にしているか/関心がない6
40代	考え方/興味がない4
50代	関心がない2
60代	歴史に近いかもしれませんが、アイヌの人々の狩猟など、どのように自然と関わり生活をしてきたかに興味があります/関心がない2

問17 私たちが生活していくうえで、自分の住んでいる土地の歴史を知ることは必要なことだと思いますか？

	たいへん思う		そう思う		あまり思わない		全く思わない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	7	13.5%	29	55.8%	13	25.0%	3	5.8%	52
20代	11	23.4%	17	36.2%	18	38.3%	1	2.1%	47
30代	11	16.7%	35	53.0%	17	25.8%	3	4.5%	66
40代	9	13.8%	42	64.6%	14	21.5%	0	0.0%	65
50代	5	11.9%	29	69.0%	8	19.0%	0	0.0%	42
60代	8	17.0%	31	66.0%	8	17.0%	0	0.0%	47
70代	3	11.5%	19	73.1%	3	11.5%	1	3.8%	26
全体	54	15.7%	202	58.5%	81	23.5%	8	2.3%	345

問18 登別市の歴史や文化財を未来に保存し、伝えていくため行政に求めることはなんですか？(2つまで回答)

	歴史を学ぶことのできる講座の機会を充実する		歴史や文化財の情報提供を充実する		文化財の所有者や保存団体を支援する		調査・研究を充実する		特別展の機会を充実する		歴史資料の適切な保存・管理	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	18	22.0%	19	23.2%	8	9.8%	12	14.6%	6	7.3%	19	23.2%
20代	14	18.4%	19	25.0%	12	15.8%	5	6.6%	6	7.9%	19	25.0%
30代	16	16.2%	23	23.2%	8	8.1%	14	14.1%	10	10.1%	23	23.2%
40代	30	29.1%	26	25.2%	12	11.7%	7	6.8%	10	9.7%	18	17.5%
50代	10	15.2%	16	24.2%	11	16.7%	3	4.5%	7	10.6%	18	27.3%
60代	11	14.9%	20	27.0%	5	6.8%	8	10.8%	10	13.5%	18	24.3%
70代	3	7.7%	12	30.8%	7	17.9%	2	5.1%	3	7.7%	12	30.8%
全体	102	18.9%	135	25.0%	63	11.7%	51	9.5%	52	9.6%	127	23.6%

	その他		N
	n	%	
10代	0	0.0%	82
20代	1	1.3%	76
30代	4	4.0%	99
40代	0	0.0%	103
50代	1	1.5%	66
60代	2	2.7%	74
70代	0	0.0%	39
全体	8	1.5%	539

	無回答
10代	0
20代	0
30代	0
40代	0
50代	0
60代	0
70代	1
全体	1

	その他の記載内容
10代	—
20代	一般公開向けの情報発信サイトの充実化
30代	子どもと一緒に体験できる機会が欲しい/登別の歴史に関連するイベントの開催/歴史や文化財を未来に伝える必要性がわからない/なし
50代	興味が無い人も目を止めるような企画
60代	小中高それぞれの学校などでの学習会/歴史や文化にあまり興味ない為

問19 10年前より文化や歴史に触れる機会は変化しましたか？

	1 (少なくとも) n %	2 (やや少なくとも) n %	3 (変わらない) n %	4 (やや多くなった) n %	5 (多くなった) n %	N
10代	8 15.4%	10 19.2%	18 34.6%	8 15.4%	8 15.4%	52
20代	4 8.5%	5 10.6%	20 42.6%	5 10.6%	13 27.7%	47
30代	1 1.5%	10 15.2%	26 39.4%	12 18.2%	17 25.8%	66
40代	9 13.8%	2 3.1%	22 33.8%	15 23.1%	17 26.2%	65
50代	3 7.1%	1 2.4%	18 42.9%	9 21.4%	11 26.2%	42
60代	3 6.4%	2 4.3%	16 34.0%	7 14.9%	19 40.4%	47
70代	1 4.0%	1 4.0%	8 32.0%	7 28.0%	8 32.0%	25
全体	29 8.5%	31 9.0%	128 37.2%	63 18.3%	93 27.0%	344

	無回答
10代	0
20代	0
30代	0
40代	0
50代	0
60代	0
70代	1
全体	1

文 化

問1 文化に関心がありますか？

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問2 文化活動をしていますか？

※文化活動には、例えば絵を描く行為だけでなく、美術館等で絵を鑑賞する行為も含まれます。

- 1 している ⇒問3へ
- 2 していない ⇒問6へ

問3 問2で「1 している」と答えた方への質問 よくしている活動は何ですか？(複数選択可)

- 1 文学・文芸 (俳句・随筆・詩・読み聞かせなど)
- 2 音 楽 (演奏・合唱・民謡など)
- 3 美 術 (絵画・工芸・写真など)
- 4 演劇・舞踊 (ダンス・日本舞踊など)
- 5 メディア芸術 (映画・漫画・アニメーションなど)
- 6 伝統芸能 (民俗芸能・歌舞伎など)
- 7 芸 能 (講談・落語・漫談・歌謡など)
- 8 生活文化 (茶・花・園芸・書・料理など)
- 9 国民娯楽 (囲碁・将棋など)
- 10 歴史・文化財 (郷土史・石碑など)
- 11 その他 ()

問4 どこで文化活動をしていますか？ (複数選択可) ※鑑賞は含みません

- 1 市内の公共施設 →どこですか？()
- 2 市内の民間施設 →どこですか？()
- 3 自 宅
- 4 市 外 →どこですか？()
- 5 その他()

問5 文化活動に関するサークルや団体、教室等 に入っていますか？

- 1 入っている
- 2 入っていない

問6 問2で「2 していない」と答えた方への質問 文化活動をしていないのはなぜですか？

- 1 経済的に余裕がない
- 2 仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない
- 3 活動のできる場所や事業の情報が入手できない
- 4 活動するための施設がない
- 5 一緒に活動する仲間がいない
- 6 指導者がいない
- 7 文化に関心がない
- 8 その他()

問7 これからも、また今後してみたいと思う文化 活動はどれですか？ (複数選択可) ※鑑賞は含みません

- 1 ない
- 2 小説 3 随筆 4 詩 5 短歌 6 俳句
- 7 川柳 8 読み聞かせ 9 演奏(クラシック)
- 10 演奏(ポップス) 11 演奏(ジャズ)
- 12 合唱 13 民謡 14 絵画 15 陶芸
- 16 彫刻 17 工芸 18 写真 19 演劇
- 20 ミュージカル 21 バレエ 22 ダンス
- 23 日本舞踊 24 映画 25 漫画
- 26 アニメーション 27 民俗芸能 28 講談
- 29 落語 30 浪曲 31 漫談 32 マジック
- 33 歌謡・歌唱 34 茶道 35 華道 36 囲碁
- 37 将棋 38 歴史・文化財
- 39 その他()

次のページに進んでください

問8 今日までの1年間で鑑賞(参加)したものは
どれですか? (複数選択可)

- 1 鑑賞していない ⇒問9へ
2 クラシック 3 ジャズ 4 ポップス
5 民族音楽 6 絵画 7 陶芸 8 彫刻
9 写真 10 演劇 11 ミュージカル 12 バレエ
13 ダンス 14 日本舞踊 15 映画 16 漫画
17 アニメーション 18 歌舞伎 19 能楽・狂言
20 雅楽 21 文楽
22 民俗芸能(アイヌ民族の舞踊等も含む)
23 講談 24 落語 25 漫談・漫才
26 歌謡・歌唱 27 マジック・サーカス
28 花(華道) 29 書(書道) 30 園芸
31 講演会 32 その他()

2~32 を選択した方 ⇒問10へ

問9 問8で「1 鑑賞していない」とした方への
質問
鑑賞していないのはなぜですか? (1つ)

- 1 経済的に余裕がない
2 仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない
3 鑑賞事業の情報が入手できない
4 興味のある鑑賞事業が開催されていない
5 一緒に鑑賞する仲間がいない
6 文化に関心がない
7 その他

問10 鑑賞した方への質問
どの地域で鑑賞しましたか? (複数選択可)

- 1 登別市内 ⇒問11へ
2 室蘭市
3 伊達市
4 札幌市
5 その他() } ⇒右上の問いへ

——問10で2~5を選択した方への質問
なぜ市外で鑑賞しましたか?

- 1 興味のある公演や展覧会が開催されている
2 一緒に鑑賞する仲間がいる
3 家族や知人が出演・展示している
4 その他()

問11 今後、鑑賞したいと思うものはどれ
ですか? (複数選択可)

- 1 クラシック 2 ジャズ 3 ポップス 4 民族音楽
5 絵画 6 陶芸 7 彫刻 8 写真 9 演劇
10 ミュージカル 11 バレエ 12 ダンス
13 日本舞踊 14 映画 15 漫画
16 アニメーション 17 歌舞伎 18 能楽・狂言
19 雅楽 20 文楽 21 民俗芸能 22 講談
23 落語 24 漫談・漫才 25 歌謡・歌唱
26 マジック・サーカス 27 花(華道) 28 書
29 園芸 30 講演会
31 その他()

問12 文化活動は人が豊かな生活を送るために
必要だと思いますか?

- 1 とても思う
2 そう思う
3 あまり思わない
4 全く思わない

問13 登別市の文化振興のため行政に求める
ことはなんですか? (2つまで)

- 1 文化や芸術を鑑賞・体験できる機会の充実
2 市内の活動や催しなどの情報提供
3 子どもたちに対する文化・芸術活動の支援
4 バリアフリーなど施設の整備
5 さまざまな文化講座等の充実
6 文化団体に対する助成や支援
7 その他()

次のページに進んでください

問14 自分の住んでいる土地の歴史に関心がありますか？

- 1 たいへんある } ⇒ 下記問いへ
2 ある }
3 あまりない } ⇒ 問15へ
4 全くない }

—— 問14で「1 たいへんある」「2 ある」と答えた方への質問
市内の歴史や文化財で関心のあるものはなんですか？ (複数選択可)

- 1 縄文 2 アイヌ 3 片倉家
4 北海道開拓 5 石碑 6 鉱山
7 温泉 8 その他()

問15 市内の歴史を学ぶことのできる施設にどれくらい行きますか？それぞれ当てはまる箇所に○をつけてください。

	よく行く	時々行く	行ったことがある	行ったことがない
郷土資料館				
カント・レラ				
銀のしずく記念館				
ふおれすと鉱山				

※「カント・レラ」はのぼりべつ文化交流館、「ふおれすと鉱山」は登別市ネイチャーセンターの愛称です。

—— 「行ったことがない」施設があった方への質問
行ったことがない理由を教えてください。
(複数選択可)

- 1 施設自体を知らない
2 交通手段がない
3 時間がなくて行けない
4 歴史に関心がない
5 その他()

問16 平成31年(2019年)にアイヌ民族を先住民族として初めて位置づけた「アイヌ施策推進法※1」が施行され、翌年には隣の白老町にウポポイ※2もオープンし、アイヌ民族の歴史・文化を学んだり、体験する機会が充実してきました。あなたはどの分野に関心がありますか？ (複数選択可)

- 1 歴史 2 アイヌ語 3 アイヌ語地名
4 ユカラなどの口承文芸 5 刺しゅう
6 踊り 7 木彫り 8 差別・人権の問題
9 その他()

※1「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」

※2「民族共生象徴空間」

問17 私たちが生活していくうえで、自分の住んでいる土地の歴史を知ることは必要なことだと思いますか？

- 1 たいへん思う
2 そう思う
3 あまり思わない
4 全く思わない

問18 登別市の歴史や文化財を未来に保存し、伝えていくため行政に求めることはなんですか？ (2つまで)

- 1 歴史を学ぶことのできる講座の機会を充実する
2 歴史や文化財の情報提供を充実する
3 文化財の所有者や保存団体を支援する
4 調査・研究を充実する
5 特別展の機会を充実する
6 歴史資料の適切な保存・管理
7 その他()

問19 10年前より文化や歴史に触れる機会は多くなりましたか？

少なくなった 変わらない 多くなった

1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5

